

令和6年度 朝日町教育委員会  
事務事業点検・評価報告書  
(令和5年度分)

令和6年8月

朝日町教育委員会

# 目 次

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について .....	1
1. 制度の概要及び目的 .....	1
2. 点検及び評価の対象事業 .....	1
3. 点検及び評価の方法 .....	1
4. 学識経験者の知見の活用 .....	1
II. 令和5年度教育委員会活動状況 .....	2
1. 教育委員の選任状況 .....	2
2. 教育委員会会議開催状況 .....	2
3. 教育委員学校訪問 .....	6
4. 各種会議、大会、研修会等への参加 .....	6
III. 外部評価委員の意見 .....	9
1. 総括 .....	9
2. 教育委員会の活動について .....	9
3. 事務事業の点検・評価、今後の事務事業の企画運営にあたって .....	9
IV. 点検及び評価対象事業一覧 .....	12
V. 事務事業点検・評価調書 .....	13
整理番号 1 ～ 38	

# I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について

## 1. 制度の概要及び目的

平成19年6月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成20年4月1日施行）」の一部改正以降、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないことになりました。

また、この点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

これを受け町教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、令和5年度に行った事務事業について、3名の外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）の意見をいただきながら検証し、その結果を報告書としてまとめることとしています。

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

**第26条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

**2** 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2. 点検及び評価の対象事業

令和5年度に実施した朝日町教育委員会所管38事務事業のうち、全ての事務事業を対象に点検及び評価を行いました。このため当該年度分の対象率は100%となっています。また、本年度は第2次朝日町教育振興計画の主要施策に関連する事業を選定して、より具体的な意見を外部評価委員からいただきました。

## 3. 点検及び評価の方法

各事務事業については、「必要性」及び「効率性・有効性」の観点で所管課の自己点検及び評価を行い、全ての事務事業について調書を作成しました。この結果に対して、より客観性を確保するために、外部評価委員より意見をいただきました。

## 4. 学識経験者の知見の活用

3名の学識経験者を外部評価委員として「朝日町教育事務評価委員」に委嘱し、点検及び評価の内容についてご意見をいただき、報告書に反映しました。

### 朝日町教育事務評価委員

氏名	役職名等
真木 吉雄	元 山形大学大学院教育実践研究科 教授
菅井 道也	有識者
菅井 弓子	有識者

## II. 令和5年度 教育委員会活動状況

### 1. 教育委員の選任状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

職	氏 名	備 考
教 育 長	堀 俊 一	
委 員	五十嵐 義 一	職務代理者
委 員	井 上 幸 弘	
委 員	橋 間 博 美	
委 員	海 野 睦	

### 2. 教育委員会会議開催状況

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和5年 4月25日  定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和4年度朝日中学校卒業生の進路先について ② 朝日町立義務教育学校創設推進室の設置について ③ 令和5年度小中学校職員及び事務局職員事務分担について ④ 令和5年度朝日町校長会活動方針及び研修課題等について ⑤ 令和5年度朝日町教育研究所運営方針について ⑥ 令和5年朝日町二十歳のつどいについて ⑦ 第67回山形県縦断駅伝競走大会について ⑧ 令和5年度朝日町小学校陸上記録会について ⑨ 第40回アップル町民駅伝競走大会について
	附議	議第10号 朝日町教育委員会委員の議席の指定について 議第11号 令和5年度朝日町教育支援委員会委員の委嘱について 議第12号 朝日町社会教育委員の委嘱について 議第13号 朝日町立西部公民館運営審議会委員の委嘱について
	協議	1. 令和5年度朝日町学校教育・社会教育の重点について 2. 学校訪問、あさひ保育園訪問について 3. 教育委員研修会について 4. 令和5年朝日町教育委員会5月定例会の日程について 5. 令和5年度第1回朝日町総合教育会議の日程について
令和5年 5月30日  定例会	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 令和5年度朝日町小学校陸上競技記録会の結果について ② 令和5年度教育委員会関係工事等の予定と状況について ③ 令和5年度「海の子 山の子 交流事業」～海の集い～について
	附議	議第14号 令和5年度要保護及び準要保護 議第15号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見の申出について （令和5年度補正予算）
	協議	1. 朝日町立義務教育学校創設に向けた今年度のスケジュールについて 2. 中学校部活動地域移行に伴う部活動指導員の配置について 3. 令和年朝日町教育委員会6月定例会の日程について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和5年 5月30日 総合教育会議	協議	1. 朝日町立義務教育学校創設に向けた今年度のスケジュールについて 2. 意見交換
令和5年 6月27日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和5年度NRT検査結果について ② 令和5年度西村山中学校総合体育大会の結果について ③ 令和5年度中学生海外派遣事業の進捗状況について ④ 第26回ひめさゆり俳句大会の実施について ⑤ 町民プールについて
	附議	議第16号 令和5年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
	協議	1. 令和5年度西村山市町教育委員会連絡協議会総会・研修会等について 2. 令和5年度教育委員研修会(山形県市町村教育委員会大会)について 3. 令和5年朝日町教育委員会7月定例会の日程について
令和5年 7月25日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和5年度NRT検査結果について ② 令和5年度朝日町教育支援委員会について ③ 令和5年度朝日町教育研究所夏季研修について
	附議	議第17号 令和6年度使用教科用図書採択について
	協議	1. 令和5年朝日町教育委員会8月定例会の日程について
令和5年 8月22日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和5年度東北中学校体育大会の結果について ② 第40回アップル町民駅伝競走大会について
	附議	議第18号 令和5年度朝日町教育委員会事務事業点検・評価(令和4年度分)について 議第19号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見の申出について(令和5年度補正予算)
	協議	1. 令和5年朝日町教育委員会9月定例会の日程について 2. 令和5年度第2回総合教育会議の日程について
令和5年 9月26日 定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 全国学力・学習状況調査の結果について ② 令和5年度西村山中学校新人総合体育大会の結果について ③ 朝日町青少年健全育成町民大会の実施状況について ④ あさひ学びタイトの実施状況について ⑤ 第40回アップル町民駅伝競走大会の参加状況について ⑥ 第59回朝日町芸術文化祭の開催について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
	附議	議第 20 号 令和 5 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
	協議	1. 令和 6 年度実施計画ローリング (R6~8) について 2. 令和 5 年朝日町教育委員会 10 月定例会の日程について
令和 5 年 9 月 26 日 総合教育会議	協議	1. 朝日町立義務教育学校創設に向けた意見交換 ・第 3 回義務教育学校創設準備委員会開催状況報告 ・意見交換
令和 5 年 10 月 24 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告 (日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和 5 年度山形県中学校新人総合体育大会 (県南ブロック) 成績について ② 第 40 回アップル町民駅伝競走大会の結果について ③ 令和 5 年度朝日町青少年健全育成町民大会の開催状況について ④ 健康∞スポーツマルシェ「みんなで遊びタイト」の開催状況について ⑤ 第 69 回西村山地区駅伝競走大会について ⑥ 第 39 回山形県女子駅伝競走大会について
	協議	1. 教育委員視察研修について 2. 令和 5 年朝日町教育委員会 11 月定例会の日程について
令和 5 年 11 月 27 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告 (日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 朝日町 P T A 連合会からの要望書について ② 朝日町校長会からの要望書について ③ 第 26 回「ひめさゆり俳句大会」入選結果について ⑤ 令和 5 年度第 2 回学校運営協議会について ⑥ 令和 5 年度県新人体育大会決勝大会成績について ⑦ 第 69 回西村山地区駅伝競走大会の成績について ⑧ 第 39 回山形県女子駅伝競走大会の成績について
	附議	議第 21 号 令和 5 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 議第 22 号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見の申出について (令和 5 年度補正予算)
	協議	1. 令和 5 年朝日町教育委員会 12 月定例会の日程について 2. 令和 5 年度第 3 回総合教育会議の日程について
令和 5 年 12 月 28 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告 (日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和 6 年度予算要求概要について ② 朝日町 P T A 連合会からの要望書への回答について ③ 令和 5 年度朝日町小学校スキー記録会について
	協議	1. 第 2 次朝日町教育振興計画の見直しについて 2. 令和 5 年朝日町教育委員会 1 月定例会の日程について
令和 5 年 12 月 28 日 総合教育会議	協議	1. 朝日町立義務教育学校創設に向けた意見交換 ・義務教育学校創設に向けた令和 6 年度のスケジュールについて

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和6年 1月23日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 第36回朝日町生涯学習推進大会について ② 令和5年度準要保護児童生徒援助費辞退届について
	附議	議第1号 令和6年度特別支援学級への就学が必要な児童生徒の決定について
	協議	1. 令和5年度 子どもの芸術文化活動に係る朝日町教育委員会表彰者の決定について 2. 令和6年朝日町教育委員会2月定例会の日程について 3. 令和5年度第4回総合教育会議の日程について
令和6年 2月6日 臨時会	協議	1. 義務教育学校 測量及び整備基本計画策定支援業務の調査結果について
令和6年 2月27日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和5年度朝日町スポーツ協会表彰受賞者について ② 令和5年度朝日町小学校スキー記録会の結果について
	附議	議第2号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見書の申出について(令和5年度補正予算) 議第3号 町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見書の申出について(令和6年度当初予算)
	協議	1. 令和6年朝日町教育委員会3月臨時会の日程について 2. 令和6年朝日町教育委員会3月定例会の日程について
令和6年 2月27日 総合教育会議	協議	1. 朝日町立義務教育学校創設に向けた意見交換 ・整備予定地の変更について ・今後のスケジュールについて ・基本構想(案)について
令和6年 3月7日 臨時会	附議	議第4号 令和6年度朝日町立小中学校教職員の人事異動内申について
令和6年 3月11日 臨時会	附議	議第5号 令和6年度朝日町立小中学校教職員の人事異動内申について(変更)
令和6年 3月26日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和5年度朝日中学校卒業生の進路先について ② 令和6年度学級編成について ③ 令和6年度区域外就学の許可について
	附議	議第6号 令和6年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 議第7号 令和6年度朝日町立小中学校の校医等の委嘱について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
	協議	1. 令和6年度朝日町学校教育・社会教育の重点について 2. 令和6年朝日町教育委員会4月定例会の日程について
令和6年 3月26日 総合教育会議	協議	1. 朝日町の教育の推進について（総括と展望） 2. 義務教育学校創設準備について ・基本構想（案）について ・学校建設予定候補地について

### 3. 教育委員学校訪問

年月日	実施校	内容
令和5年6月9日	朝日町立宮宿小学校	①学校経営概要説明、懇談 ②授業参観並びに校舎等巡回 ③教職員・教育委員紹介 ④学校経営へのアドバイス
令和5年6月9日	朝日町立朝日中学校	
令和5年6月29日	朝日町立西五百川小学校	
令和5年6月30日	朝日町立大谷小学校	

※ 上記以外に町立学校の「授業研究会（20回）」に教育委員の参加を可能とし、また教育長及び事務局職員も参加または助言者として参画した。

### 4. 各種会議、大会、研修会等への参加

年月日	会議、大会等名	場所	出席者等
令和5年4月3日	町辞令交付式	創遊館	教育長
令和5年4月3日	朝日町教職員辞令交付式	創遊館	全員
令和5年4月7日	各小中学校入学式	各小中学校	全員
令和5年4月29日	朝日町二十歳のつどい	創遊館	
令和5年5月10日	第1回学校運営協議会	創遊館	全員
令和5年5月17日	小学校陸上競技記録会	西小グラウンド	来賓要請なし
令和5年6月2日	西五百川小学校相撲大会	西小相撲場	来賓要請なし
令和5年6月3日	大谷小学校運動会	大谷小グラウンド	来賓要請なし
令和5年6月13日	町青少年育成町民会議総会	創遊館	教育長
令和5年6月20日	朝日町立大谷小学校創立150周年記念式典	大谷小	全員
令和5年6月22日	第1回義務教育学校創設準備委員会	創遊館	教育長
令和5年6月23日	緑の少年団結団式	秋葉山	教育長

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者 等
令和5年6月25日	あさひ学びタイト	創遊館	教育長
令和5年7月13日	西村山市町教育委員会連絡協議会	河北町	全員
令和5年7月27日	第2回義務教育学校創設準備委員会 (教育研究所研修会参加)	創遊館	教育長
令和5年7月28日	校長・教頭合同研修会	創遊館	全員
令和5年8月4日	山形県市町村教育委員会大会	新庄市	全員
令和5年9月2日	西五百川小学校運動会	西小グラウンド	来賓要請なし
令和5年9月3日	朝日中学校体育祭	朝日中	来賓要請なし
令和5年9月7日	第3回義務教育学校創設準備委員会	創遊館	教育長
令和5年9月9日	宮宿小学校運動会	宮小グラウンド	来賓要請なし
令和5年10月8日	第39回アップル駅伝競走大会	町内	全員
令和5年10月20日	町青少年健全育成町民大会	創遊館	全員
令和5年10月22日	健康スポーツマルシェ <sup>∞</sup> みんなで遊びタイト	創遊館	教育長
令和5年10月23日	義務教育学校創設準備委員会視察研修	新庄市萩野学園	全員
令和5年11月9日	保小中連携研修会	創遊館	教育長
令和5年11月3日 ～4日	朝日町芸術文化祭 (中学生海外派遣報告)	創遊館	全員
令和5年11月27日	義務教育学校創設準備委員会視察研修	福島県大熊町	全員
令和5年12月14日	第4回義務教育学校創設準備委員会	創遊館	教育長
令和5年12月23日	朝日自然観スキー場開き	自然観スキー場	教育長
令和6年1月4日	町辞令交付式	創遊館	教育長
令和6年1月4日	第5回義務教育学校創設準備委員会	創遊館	教育長
令和6年1月31日	小学校スキー記録会	朝日自然観スキー場	教育長
令和6年2月15日	第6回義務教育学校創設準備委員会	創遊館	教育長

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者 等
令和6年2月22日	第3回学校運営協議会	創遊館	全員
令和6年2月25日	生涯学習推進大会	創遊館	全員
令和6年3月8日	第7回義務教育学校創設準備委員会	創遊館	教育長
令和6年3月14日	朝日中学校卒業式	朝日中学校	全員
令和6年3月18日	各小学校卒業式	各小学校	全員

### Ⅲ. 外部評価委員の意見

#### 1. 総括

人口減少や少子高齢化などの社会変化に対応した地域づくりを、教育行政としてどのように推進していくのか、いずれの教育委員会も抱える共通の課題といえよう。

朝日町でも同様な状況にある中で、令和5年度の朝日町教育委員会事務事業の最大の特色に、前年度策定の第2次朝日町教育振興計画見直し版に基づく事務の執行と、義務教育学校の創設に向けた事業の2点があげられる。特に後者は、将来の朝日町の有り様に関わる極めて重要な施策であり、町民の関心が極めて高い。創設に向けて教育行政が特に留意しなければならないのは、学校教育のあり方の検討だけにとどまってはならないということである。古来、小学校は、地域と密接な関係の中で存在してきた。現在の小学校が統廃合することで、地域との関連性が薄れ、地域の衰退にも繋がることが懸念されている。

この観点から令和5年度の事務事業点検・評価を見ると、事業間の関連性を再構築することで将来の地域づくりがより強化されると思われるところが若干見受けられる。例えば公民館事業における児童生徒を対象とした青少年教育事業と放課後子ども教室推進事業、並びに小中学校における地域との関わりを通じた特色ある学校づくり事業などで、それぞれが単独事業になっていないであろうか。関連事業を整理することによって事業のスリム化や歳出の削減にも繋がり、最終的には将来の地域づくりの礎になることが期待される。

義務教育学校創設に向けたランドデザインをもとに、現行の事務事業を総体的に見直しながら取り組むことが求められる。

#### 2. 教育委員会の活動について

総合教育会議の回数が増したことは、第6次朝日町総合発展計画の具現化と義務教育学校創設に向けた取り組みを一体感を持って進めようとしている証であると捉えることができる。これからも、教育委員会と町長部局とが関連施策のエビデンスを共有化し、同一歩調で当たることを目的として必要に応じた総合教育会議の開催が求められる。教育委員会として留意すべき点は、行政主導の施策に対して、教育委員のレイマンコントロール機能がなされるよう十分な協議を進めたうえで、総合教育会議に繋げていくことである。

#### 3. 事務事業の点検・評価、今後の企画運営について

##### (1) 全体

いずれの事業も前年度の実績に基づいた内部評価がなされており、改善に向けた意欲が窺える。特に、事業の方向性に具体的な手立てが示されており、点検・評価作業の成果が表れてきたといえる。課題となる事項について、その根拠が明確に示されていないところが見受けられる。極力原因の究明に務めたうえで、課題を成文化することが改善に向けた一助となるであろう。

新しく事業を起こすのは大変だが、少しずつ改善しながら町民一人一人に浸透する活動にしてほしい。

教員の働き方改革では、給特法の見直し（４％→１０％）、教員採用試験の前倒し、大学３年生からの受験など、教員不足対策が検討、実施されている。業務内容の見直しと学校を取り巻く環境の改革がない限り、なかなか改善されない。

このような中、町として取り組むことのできる施策あるいは削減があるのではないだろうか。さらなる追求を期待したい。

## （２）学校教育関係

### ① コミュニティ・スクール事業費

学校運営協議会の役割には、学校運営方針の承認、経営の進捗状況の確認、学校や地域に向けた情報発信、その他として学校運営や地域連携に関わる事柄についての熟議などがある。義務教育学校の創設については、将来の学校のあり方に関わる重要事項として必然性があり協議事項となることは否めない。しかし、学校運営協議会とは現在の学校の運営に関する協議を行う組織であることから、義務教育学校のあり方についての協議を優先するのではなく、統廃合に向けた学校経営の現況や課題を共有化し協議することを主眼としなくてはならない。学校運営協議会としてなすべき方向性を見定めながら、教育委員会として支援されることが望まれる。

地域活動推進員を配置して地域学習をすることの意義は大きく、学校で行った活動が地区での活動につながっていると思われる。

### ② 教育研究所費

教職員の資質向上が事業の目的であるが、教育実践面で具体的な成果をあげることが最終目標となる。例えば、保小中連携推進部会では、保小連携に関わる実践的かつ具体的な取り組みが行われることや、地域連携推進部会では、義務教育学校で活用できる地域学習の指導資料の作成などが考えられる。事業の実績が残るような事業内容の検討が望まれるが、教職員の負担増加にならないように留意していくことも大切である。

少子化だからこそできる１２年間の育ちを見据えた教育、朝日町の教育の魅力の一つになればいいと思う。保小中連携して、一人ひとりの子どもを大切にしたい教育をしてほしい。

### ③ 小学校教育振興費、中学校教育振興費

前述の教育研究所費の地域連携部会の取り組みと本費の特色ある学校づくり事業、同じく子育て生徒指導部会の取り組みと不登校対応事業など、最終的には同一の目標を目指しており、関連性が高い事業であるといえる。最終目標の達成度合いからそれぞれの事業を評価することもなされるべきである。学習生活指導員・読書活動推進員・ICT支援員などの配置は、子どもの実態に応じたきめ細やかな教育に不可欠であり、さらに教職員の働き方改革にも寄与するものである。これからも適切な対応をお願いしたい。

特別な支援が必要な児童生徒及び保護者や不登校の児童生徒及び保護者が孤立することがないように必要に応じて支援をしてほしい。将来を見据えた支援ができるように多方面からの情報収集を合わせてお願いしたい。

#### ④ 外国語活動事業費

国際理解並びに英語教育に関する多様な事業が行われており、児童生徒の活躍の場が多く設定されるようになってきた。今後の事業の方向性を整理するためにも、これまでの取り組みから得られた成果を検証してみることも考えられよう。

A L T 2 人体制で 1 2 年間を見通して保育園、小学校、中学校と継続して指導が受けられるのは望ましいことである。

### (3) 生涯学習関係

#### ① 文化財保護費

関係者の地道な活動によって、貴重な文化財が保護されている。そんな中で、5年ぶりにハッチョウトンボの個体確認がなされたことは大きな成果といえる。こうした活動や成果についての情報を広く発信することで、一般人の興味や関心を集めることができるようになる。「朝日町ふるさと文化財制度」をはじめ SNS など多様な情報発信手段の活用などを通して、文化財に対する町民全体の意識の高揚が図れる前向きな施策の実現が求められる。

#### ② 中央公民館事業費、西部公民館事業費、北部公民館事業費

いずれの公民館においても参加者の枠を外した事業の企画がなされたことは、ダイバーシティの観点からも高く評価するものである。青少年教育のうち児童を対象とした事業について、各公民館の特色を生かした独自の内容で、参加者の興味・関心を集める事業である。将来の義務教育学校の創設に伴い、今後、地域と学校の連携を図りながら、地域にいてなすべき青少年教育のあり方を再構築することが望まれる。

#### ③ 保健体育総務費

町民の多様なニーズへの対応や中学校の部活動改革については、一自治体だけでは限界があることから、広域化するなど全く新たな視点での取り組みが求められる。その中で町独自で対応することができるスポーツを絞り、ミズノなど他者の協力や支援を受けながら特色のある事業を推進することが想定される。部活動改革は子どもたちの希望が叶うように、スポーツ関係だけでなく芸術面でも整備を進めていってほしい。

### (3) 義務教育学校関係

#### ① 義務教育学校創設費

整備予定地変更によって開校予定年度に遅延が生じないようにすることが、教育委員会に新たに課せられた課題となる。工期の変更が、開校年度のみならずグラウンドデザインに負の影響を及ぼさないようにすることがより重要であろう。開校に向けて教育委員会の抱える負担は確実に増加することになるが、町長部局との連携はもとより、複数による進捗状況の確認とスケジュール管理を怠ることなく進めていただきたい。併せて、住民説明については丁寧かつ慎重に対応していくことが望まれる。

間違った情報が独り歩きすることがないように、足並みをそろえて進めていってほしい。

#### IV. 点検及び評価対象事業一覧

事務事業名	担当課・係	整理番号
教育委員会費	教育文化課学校教育係	1
教育委員会事務局総務費	教育文化課学校教育係	2
コミュニティ・スクール事業費	教育文化課学校教育係	3
教育委員会奨学金貸与事業費	教育文化課学校教育係	4
教育研究所費	教育文化課学校教育係	5
廃校管理費	教育文化課学校教育係	6
小学校管理費	教育文化課学校教育係	7
中学校管理費	教育文化課学校教育係	8
小学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	9
中学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	10
小学校遠距離通学費	教育文化課学校教育係	11
中学校スクールバス運行費	教育文化課学校教育係	12
小学校整備事業費	教育文化課学校教育係	13
中学校整備事業費	教育文化課学校教育係	14
小学校教育振興費	教育文化課学校教育係	15
中学校教育振興費	教育文化課学校教育係	16
外国語活動推進事業費	教育文化課学校教育係	17
小学校給食費	教育文化課学校教育係	18
中学校給食費	教育文化課学校教育係	19
社会教育総務費	教育文化課生涯学習係	20
文化財保護費	教育文化課生涯学習係	21
町史編さん費	教育文化課生涯学習係	22
青少年健全育成推進事業費	教育文化課生涯学習係	23
自治公民館整備事業費	教育文化課生涯学習係	24
中央公民館事業費	教育文化課生涯学習係	25
西部公民館事業費	教育文化課西部公民館	26
北部公民館事業費	教育文化課北部公民館	27
創遊館管理費	教育文化課生涯学習係	28
西部公民館管理費	教育文化課西部公民館	29
北部公民館管理費	教育文化課北部公民館	30
放課後子どもプラン事業費	教育文化課生涯学習係	31
つながりで育てる人材育成事業	教育文化課生涯学習係	32
図書館費	教育文化課生涯学習係	33
文化振興費	教育文化課生涯学習係	34
保健体育総務費	教育文化課生涯学習係	35
体育施設管理費	教育文化課生涯学習係	36
義務教育学校創設準備委員会事務局費	義務教育学校創設準備室	37
義務教育学校整備事業費	義務教育学校創設準備室	38

## 事務事業点検・評価調書

所管課・係 教育文化課学校教育係

## 1. 事務事業名

事務事業名	教育委員会費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	01	教育委員会費

## 2. 事業の目的

事業の目的	教育委員会定例会を原則月1回開催し、学校教育、社会教育の課題を協議、調整、意思統一を図る。学校訪問を通して、常に教育の現場を把握し適切な指導助言を行う。
-------	--

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育長及び4人の教育委員</li> <li>・定例教育委員会12回開催、臨時会2回開催、附議事件15件</li> <li>・総合教育会議5回開催</li> <li>・西村山市町教委連絡協議会総会・研修会(7/13河北町)</li> <li>・山形県市町村教育委員大会(8/4新庄市)</li> <li>・教育委員視察研修(10/23新庄市立萩野学園、11/27福島県大熊町学び舎ゆめの森)</li> <li>・各校学校等訪問 西小6/29、宮宿小6/9、大谷小6/30、朝日中6/9</li> <li>・各種事業への参加(教職員辞令交付式、入学式、小体連陸上、小学校運動会、中学校体育祭、卒業式等参加)</li> <li>・ペーパーレス化のため、定例会のタブレット使用開始</li> <li>・【予算と決算の差引額が多い理由】 コロナ5類移行後もリモート会議などが多く、旅費等が残ってしまったため</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,375,000	決算額	1,232,083	差引額	142,917
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価(成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○西村山市町教委連絡協議会研修会では部活動地域移行の現状と課題について情報共有や認識を新たにする事ができた。また、定例会などにおいて、「第2次朝日町教育振興計画」などに基づき町の実情に即した課題を協議題として設定することにより、より充実した会議にすることができた。</li> <li>○年度の早い時期に学校を訪問し、学校の現状把握と情報共有ができた。</li> <li>○義務教育学校創設に関し、定例会及び総合教育会議で現状の把握や大まかな方向性について協議検討を重ねてきた。また先進地視察の実施や職員の視察報告等を受け、現在の学校建設等について学ぶことができた。</li> </ul>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員の更なる資質向上のため、定例会等を利用して町独自研修を継続して実施するとともに、今後も時宜を得たテーマを考えながら議論が深まるよう工夫していく。</li> </ul>
---

# 事務事業点検・評価調書

2

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会事務局総務費
-------	-------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

## 2. 事業の目的

事業の目的	適切な学校運営に必要な各種事務を行う。 第6次朝日町総合発展計画及び第2次朝日町教育振興計画に基づいた事務の執行を行う。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務事業点検・評価（外部評価委員3人） 評価委員会2回開催、9月一般公開</li> <li>・第26回小中学生ひめさゆり俳句大会（319句）</li> <li>・令和6年度入学児童（31人）を対象に就学時健診（10/4）を実施 内科、眼科、耳鼻科健診、歯科、聴力、視力、知能検査</li> <li>・教育支援委員会を3回開催</li> <li>・教育支援アドバイザーの保育園訪問の実施</li> <li>・県費教職員健康診断（全員受診）</li> <li>・スクールガードリーダー1人を配置し、パトロールを実施。（年間41日）</li> <li>・会計年度任用職員（事務補助）を1人配置</li> <li>・あさひ英語・数学学習会の実施（各10回）</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	6,107,000	決算額	5,605,675	差引額	501,325
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○「いじめの防止等のための基本的な方針」に基づき、いじめの実態を共有し、学校と関係機関が連携して未然防止に当たった。令和5年度のいじめ問題対策連絡協議会は2回開催した。また、日常的な児童生徒の細やかな観察や定期的なアンケート調査を実施し、未然防止・早期発見・迅速対応を行うことでいじめの解決を図るとともに新たないじめにつながらないように努めた。</p> <p>○特別支援教育アドバイザーを保育園にも派遣したことにより、保育園時代からの継続したアドバイスをいただくことができるようになった。また保育士と学校教職員間の情報共有に役だった。</p> <p>○中学3年生対象のあさひ英語・数学学習会は参加者が多く、意欲的な学習態度であった。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次朝日町教育振興計画について、第6次朝日町総合発展計画と整合性を図りながら、現状と課題を明確にし、主要な施策の評価などを通じて進捗管理を行う。</li> <li>・町教育支援委員会の中で支援を要する児童等の情報を共有し、参観や情報交換などを通し、早期から継続して個に応じた丁寧な支援を心がけていく。</li> <li>・あさひ英語学習会の講師について、数学と同様に民間委託する。</li> </ul>
--

# 事務事業点検・評価調書

3

## 1. 事務事業名

事務事業名	コミュニティ・スクール事業費
-------	----------------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

## 2. 事業の目的

事業の目的	コミュニティ・スクール運営や家庭・地域・学校における円滑な協働活動ができるように支援する。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動推進員（統括コーディネーター1名、西小兼宮小1名、朝日中兼大谷小1名）を配置</li> <li>・各学校をコミュニティ・スクールに指定し、学校運営協議会を3回開催。（5/10, 10月中, 2/21）</li> <li>・コミュニティ・スクール先進校視察（10/23 新庄市萩野学園）</li> <li>・学校運営協議会委員を対象に年1回研修会を開催 2/21 講話 前川浩一氏</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	3,778,000	決算額	3,635,013	差引額	142,987
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○地域活動推進員を配置し、学校と地域が連携できるよう調整を行い、地域学習をスムーズに行うことができた。また教職員の負担軽減にもつながった。</p> <p>○学校運営協議会では毎回熟議を行い、各学校の現状に基づき育てたい児童生徒像や課題について情報交換を行うことで課題や方向性を明らかにすることができた。この課題や方向性を義務教育学校創設につなげるとともに、義務教育学校創設準備委員と一緒に先進地視察に行き、情報収集や意見交換等を行うことができた。そしてその内容をコミュニティ・スクール通信として発行し、町民へ広く周知することにより、地域と学校の連携・協働の意識の高揚につながっている。</p> <p>○朝日町コミュニティ・スクールとして学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進し、学校と地域が連携した教育活動の推進を行うことができた。</p> <p>○地域ボランティアの先生方が安心して協働活動ができるように活動保険に加入した。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<p>・義務教育学校創設で、町内全てが学区になり「朝日町の子どもを町民みんなで育てる」意識の醸成を図り、スムーズに移行できるよう意図的・計画的に熟議のテーマとしていく。さらなる町民の理解を得るために、周知の仕方を工夫していく。</p>
---

# 事務事業点検・評価調書

4

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	奨学金貸与事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

## 2. 事業の目的

事業の目的	高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校に修学する者のうち学費の支弁が困難と認められる者を支援するため、その修学に必要な資金を貸与する。
-------	--

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>お知らせ板による周知（2月）</li> <li>奨学金貸与申請者の審査会 2件申込、6/13開催2件決定</li> <li>貸与件数6件 R5貸与額 2,880,000円</li> <li>返還件数56件 R5定時返還請求金額 9,440,900円</li> <li>滞納件数10件 3,742,050円             <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳 現年度未納額 457,800円</li> <li>滞納繰越額 3,284,250円</li> </ul> </li> <li>年度末基金残高 101,437,348円             <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳 現金 53,314,798円</li> <li>貸付金 48,122,550円</li> </ul> </li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	33,000	決算額	29,782	差引額	3,218
-----	--------	-----	--------	-----	-------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

○固定化している滞納者は、生活状況が厳しく納付までつながらない場合が多いが、連絡を継続しており、一部の方より滞納分全額納付の申出があるなど進捗したところもあった。
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>返還方法については、引き続き返還計画を提出してもらい無理のない返還となるよう努めていく。（月賦払い、半年賦払い、年賦払い）</li> <li>滞納者には、督促通知及び電話、自宅への訪問等を実施し返還請求を行う。それでも滞納が続く場合には、連帯保証人との話し合いの機会をつくることを検討していく。</li> <li>町の奨学金利用者は減少傾向にあるが、その一因として日本学生支援機構奨学金の制度拡充や教育ローンの低金利などによるものと思われる。町の奨学金の役割やニーズを調査し、現行奨学金制度の継続性や給付型への切り替え等、具体的に検討していく。</li> <li>町の債権管理の適正化を図ることを目的にした朝日町債権管理条例及び規則に基づき、債権の放棄等に該当するかどうか管理していく。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

事務事業名	教育研究所費
-------	--------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	03	教育研究所費

## 2. 事業の目的

事業の目的	教職員の資質向上を図る。
-------	--------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の各部会における研修、研究、全体研修        課題研究部会（地域連携推進 24 人、外国語教育 18 人、ICT 教育 18 人）を 2 回開催        校務研究部会（養護教諭部会 5 人 4 回開催、事務職員部会 5 人 5 回開催）        学力向上委員会 6 人 2 回開催 子育て生徒指導部会 22 人 2 回開催        読書活動推進委員会 14 人 1 回開催 保小中連携推進部会 15 人 6 回開催        教育講演会        町めぐり 赴任 1・2 年目の教職員 7/28</li> <li>・朝日町教育委員会指定研究校 朝日中学校 2 年次 授業研究負担金（助成）150,000 円</li> <li>・NRT 検査、知能検査（5 月）、CRT 検査（12 月～1 月）、Q-U アンケートを公費負担で実施。</li> <li>・教育研究所所報（第 26 号）を発刊（事業の経過を掲載）</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,345,000	決算額	1,208,032	差引額	136,968
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○課題研究部会として、多岐にわたる教育課題の中でも当町の喫緊の課題として 3 つのテーマ（地域連携・外国語教育・ICT 教育）を部会として構成し教職員の資質向上に努めている。地域連携推進では、単に講師を招いた講話等のみで終わるのではなく、教員自ら当該地域を訪れるなど体験活動を重視するなど工夫された内容となった。また、外国語部会では、英語科教員指導主事配置の強みを活かし、ICT 機器を活用した効果的な授業の実際に取り組むことができた。</p> <p>○学力向上に関して、学力検査（NRT、CRT）や全国学力・学習状況調査など数値化される調査については、分析を行い年 2 回の学力向上委員会で町全体の状況等確認・共有しながら協議した。また、「朝日町版授業づくりハンドブック」にも掲載している“探究的な学びのプロセス”を重視しながら学びの意欲の向上に努めるとともに、特にプロセスの中でも「課題設定」について重点的に取り組むことができた。</p> <p>○「子育て生徒指導部会」では、「『育てよう生きる力』～地域とのかかわりを広げよう～」の推進をテーマに、学校・PTA・保育園・公民館等での活動などを情報交換することができた。いじめ・不登校数が全国的に増加する中で、未然に防止するための常態的・先行的な対応となるべく、日々の挨拶や声かけなどのかかわり方について共有された。</p> <p>○1 2 年間の育ちを見据え、保小中連携の一層の推進を図るために、保育士と教員の合同研修会の開催、さらには小・中学校教員の保育参観・授業参観について推奨し、相互交流を通して語り合う場を設けることができた。また、小学校入学までの保育の充実を図るために、山形大学野口先生による保育士対象の研修会を新たに設けたことで、小・中学校の学習と遊びを通した学びについて系統的に指導していただいた。</p>
--

## 6. 事業の方向性

- ・令和10年度開校予定である朝日町立義務教育学校（仮称）に向け、義務教育学校における教育の実際について、具体的に部会を組織し2回程度を予定として開催していく。また、教育研究所全員集会や各種会議等を活用して、学校基本コンセプトに込められた想いを共有し、その具現化に向け教職員が理解を深めることができるようにする。
- ・学社連携やいじめ防止対策を担う「子育て生徒指導部会」や保小中連携一貫教育を担う「保小中連携推進部会」は、第2次朝日町教育振興計画の基本方針の充実を担う部会として今後も継続していく。
- ・義務教育学校創設を見据え、教育研究所の在り方について組織や研修内容等検討していく。
- ・朝日町版授業づくりハンドブックの活用促進を図るとともに、昨年度の「課題設定」に加え、探究のプロセスにおける「振り返り（まとめ）」について町内全ての学校、さらには保育園も含めて重点的に取り組み成果と課題を明確にする。
- ・GIGAスクール構想による一人一台端末配置に伴い、ICT教育に関わる研修を一層充実させる。現状として、wifiの接続が悪い、端末の不具合が生じるなど学習内容以外の部分において改善が必要なことも多く、ICT支援員の勤務時間を各校2時間延長してより一層の活用充実を図る。
- ・教員がしっかり児童生徒や保護者と向き合いながら教育活動を展開することができるようにするために、各種会議等のねらいを明確にし、オンラインなど開催方法や時間等再考しながら、教職員の「働き方改革」をさらに推進する。
- ・朝日町ならではの保小中連携を継続・充実させていくために、「振り返りをとおして自分自身を見つめる場をどのように設定するか」や「子どもの行為の背景をどうとらえるか」など校種の枠を超えたテーマで話し合う場を設けていく。

# 事務事業点検・評価調書

6

## 1. 事務事業名

事務事業名	廃校管理費
-------	-------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	旧小学校施設を利用する町民の利便性確保のため、日常の維持管理を行う。
-------	------------------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校（旧立木小、旧大沼分校）の管理 維持費として、電気料 834,673 円、水道料 77,803 円</li> <li>【現在の使用状況】 旧立木小：立木研修センターとして青少年活動やスポーツ少年団等の町民や各種団体が利用 年間を通して、2人の芸術家がアトリエとして、制作活動のため使用 体育館は（株）朝日相扶へ倉庫として貸付</li> <li>旧大沼分校：校舎の一部（主に1階）を、大沼区が大沼公民館として利用 民具の收藏場所として2階の部屋を使用（民具の管理は生涯学習係）</li> <li>・【予算と決算の差引額が多い理由】修繕費の予算増額したためと光熱水費や雪下ろし等委託料の残</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	1,541,000	決算額	1,070,656	差引額	470,344
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民や町内の各種団体等が利用する際の安心と安全に配慮して、施設設備の保守点検等を実施した。</li> <li>○老朽化のため、修繕費を増額して対応することができた。</li> </ul>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き修繕費用を確保しながら、使用に支障がないよう適切な維持管理を行っていく。</li> </ul>
---

# 事務事業点検・評価調書

7

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	児童の安全確保と適切な学校運営のため必要な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいる施設があるものの、法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施</li> <li>・ 光熱水費、通信運搬費について月別状況を各校に通知し、節電、節水等を指導</li> <li>・ リフト点検、ボイラー点検、プール保守点検、夜間警備委託、空調設備点検等の実施</li> <li>・ 各種修繕の実施</li> <li>・ 3小学校 特定建築物定期報告（3年に1度）</li> <li>・ 各学校コピー機（リース）の更新</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	30,266,000	決算額	27,394,240	差引額	2,871,760
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種点検を実施し、適正な管理ができた。</li> <li>○特定建築物の定期報告をするにあたり、学校施設状態を把握することで今後の維持管理に活用することができた。</li> <li>○各学校のコピー機（リース）を更新し、校務用及びネット系の2系統から印刷可能となり、印刷機管理費用や授業準備時間の減につながった。</li> <li>○保護者への緊急メールシステムを導入し、児童の安全向上につなげることができた。</li> </ul>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。</li> <li>・ 節電、節水等の呼び掛け及び設置したエアコン使用については省電力化も含めて今後も継続して実施する。</li> <li>・ 体育館設置済のAEDに加え、職員室にもAEDを設置し応急手当を強化する。</li> <li>・ 熱中症を予防するための行動を理解、実践することの周知をするとともに、熱中症対策のための体制を強化する。</li> </ul>
--

# 事務事業点検・評価調書

8

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	生徒の安全確保と適切な学校運営のため必要な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいるものの法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施</li> <li>・ 光熱水費、通信運搬費について月別状況を各校に通知し、節電、節水等を指導</li> <li>・ リフト点検、夜間警備委託、空調設備点検等の実施</li> <li>・ 各種修繕の実施</li> <li>・ 会計年度任用職員（事務補助）を継続して1人配置</li> </ul> <p>【予算と決算の差引額が多い理由】光熱水費を補正予算で増額したためと修繕料の残</p>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	14,178,000	決算額	12,535,494	差引額	1,642,506
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種点検を実施し、適正な管理ができた。</li> <li>○光熱水費は、各学校に対して定期的に利用状況を通知し、節電、節水等を呼びかけ適切に使用しているが電気料高騰のため補正予算で対応することになった。</li> <li>○特定建築物の定期報告をするにあたり、学校施設状態を把握することで今後の維持管理に活用することができた。</li> <li>○各学校のコピー機（リース）を更新し、校務用及びネット系の2系統から印刷可能となり、印刷機管理費用や授業準備時間の減につながった。</li> <li>○保護者向けの緊急メールシステムを導入し、生徒の安全向上につなげることができた。</li> </ul>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。</li> <li>・ 節電、節水等の呼び掛け及び設置したエアコン使用については省電力化も含めて今後も継続して実施する。</li> <li>・ 体育館設置済のAEDに加え、職員室にもAEDを設置し応急手当を強化する。</li> <li>・ 熱中症を予防するための行動を理解、実践することの周知をするとともに、熱中症対策のための体制を強化する。</li> </ul>
--

# 事務事業点検・評価調書

9

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や児童自身の健康維持に対する意識を高めることにより、児童が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医1人、歯科医1人、耳鼻科医1人、眼科医1人、薬剤師2人を委嘱し、各種健診を実施</li> <li>・一般財団法人寒河江市西村山郡医師会総合検診センターへ各種検査(尿、心電図)を委託</li> <li>・学校での集団健診を実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施</li> <li>・児童の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び各学校保健委員会を中心に啓発指導を実施</li> <li>・小中学校合同で学校保健委員会を開催</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,186,000	決算額	2,076,981	差引額	109,019
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価(成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和5年度より、多田清一先生が町内すべての学校医となり、インフルエンザやコロナ等集団感染時の指導や児童生徒及び保護者の保健衛生の充実等に尽力していただいた。</li> <li>○集団健診未受診者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に健診が終了できた。</li> <li>○熱中症対策として、暑さ指数の管理徹底、行事等の変更や水分補給の声掛け、児童生徒の体調把握、学校だよりでの周知等に努め、事故につながる案件がなかった。</li> <li>○小中学校合同で学校保健委員会を開催したことにより、他校との情報交換もでき、事務の効率化にもつながった。</li> </ul>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・未受診者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。</li> <li>・熱中症を予防するための行動を理解、実践することの周知をするとともに、熱中症対策のための体制を強化する。</li> </ul>
---

# 事務事業点検・評価調書

10

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や生徒自身の健康維持に対する意識を高めることにより、生徒が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医1人、歯科医1人、耳鼻科医1人、眼科医1人、薬剤師1人を委嘱し、各種健診を実施</li> <li>・一般財団法人寒河江市西村山郡医師会総合検診センターへ各種検査(尿、貧血、心電図)を委託</li> <li>・学校での集団健診を実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施</li> <li>・生徒の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び学校保健委員会を中心に啓発指導を実施</li> <li>・小中学校合同で学校保健委員会を開催</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,265,000	決算額	1,220,576	差引額	44,424
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

## 5. 事業の評価(成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和5年度より、多田清一先生が町内すべての学校医を引き受けてくださり、インフルエンザやコロナ等集団感染時の指導や児童生徒及び保護者の保健衛生の充実等に尽力していただいた。</li> <li>○集団健診未受診者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に健診が終了できた。</li> <li>○熱中症対策として、暑さ指数の管理徹底、行事等の変更や水分補給の声掛け、児童生徒の体調把握、学校だよりでの周知等に努め、事故につながる案件がなかった。</li> <li>○小中学校合同で学校保健委員会を開催したことにより、他校との情報交換もでき、事務の効率化にもつながった。</li> </ul>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・未受診者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。</li> <li>・熱中症を予防するための行動を理解、実践することの周知をするとともに、熱中症対策のための体制を強化する。</li> </ul>
---

# 事務事業点検・評価調書

11

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校遠距離通学費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学児童に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

## 3. 事業の実施状況

<p>遠距離から通学している児童数 46人 (22%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西五百川小                     <ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバス ポプラ号：能中地区8人、ひめさゆり2号：太郎地区4人、あさひ1号：松程地区4人</li> <li>スクールタクシー：立木1人、今平・沼ノ平地区4人 計21人</li> </ul> </li> <li>・宮宿小                     <ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバス（運行委託） 和合線：和合地区15人、上郷線：上郷地区6人（中学生と同乗）</li> <li>スクールタクシー：水本・送橋・古楨地区3人（中学生と同乗） 計24人</li> </ul> </li> <li>・大谷小                     <ul style="list-style-type: none"> <li>スクールタクシー：大暮山地区1人（中学生と同乗） 計1人</li> <li>※下校や冬期間について別途計画し運行</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期間の天候や路面の状況、熱中症対策によって四ノ沢地区等の徒歩通学下校児童もスクールバス等を利用している。</li> <li>・熱中症対策のため、学校と連携を図り徒歩下校児童のスクールタクシーの運行を実施。</li> <li>・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。</li> <li>・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品交換など修繕には万全を期している。</li> </ul> <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 冬期間の安全運行に備えた委託料や車借上料等の残</p>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	9,959,000	決算額	8,739,467	差引額	1,219,533
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭、学校、教育委員会の連携のもと計画どおりの運行ができた。</li> <li>○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。</li> <li>○遠距離通学の対象児童が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。</li> <li>○学校等と協議し、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ下車場所を調整している。</li> <li>○熱中症対策のため、学校と連携を図りスクールタクシーの運行やスクールバス乗車を実施。</li> </ul>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。</li> <li>・会計年度任用職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。</li> <li>・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。</li> <li>・中学校スクールバス運転手と業務を平準化し、緊急的な変更にも対応できるようにしていく。</li> <li>・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。</li> <li>・少子化・防犯上の問題など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区が拡大しているが、利用する児童生徒が安全に登下校できるよう運行方針及び利用基準を検討していく。</li> <li>・熱中症を予防するための行動を理解、実践することの周知をするとともに、熱中症対策のための体制を強化する。</li> </ul>
---

# 事務事業点検・評価調書

12

## 1. 事務事業名

事務事業名	中学校スクールバス運行費
-------	--------------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離から通学している生徒 68 人 (55%)</li> <li>朝日中</li> <li>スクールバス あさひ1号 : 松程・常盤・八ッ沼地区 7人</li> <li>ひめさゆり2号 : 立木・太郎・常盤・夏草地区 4人 (冬期間 西船渡4人プラス)</li> <li>上郷線 (運行委託) : 上郷地区 7人 (小学生と同乗)</li> <li>和合線 : (和合地区 8人冬期間下校のみ)</li> <li>スクールタクシー : 下芦沢・送橋地区3人 (小学生と同乗)</li> <li>: 大暮山地区2人</li> <li>山交バス 通年: 北部地区25人、冬期間: 登校のみ和合地区8人、yamako チェリカ利用</li> <li>旧上郷線 (いすゞ車) 下取り処分</li> <li>・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。</li> <li>・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品交換など修繕には万全を期している。</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	15,136,000	決算額	13,760,979	差引額	1,375,021
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭、学校、教育委員会の連携のもと計画どおりの運行ができた。</li> <li>○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。1台下取り処分をし財源の確保に努めるとともに、車検費用等の削減につながった。</li> <li>○遠距離通学の対象生徒が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。</li> <li>○部活動での大会や練習試合等でもスクールバスを利用しており、送迎に係る保護者の負担軽減ができた。</li> <li>○学校等と協議し、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ下車場所を調整している。</li> <li>○山交バスの土曜日運休予定に伴い、北部地区中学生の通学手段について情報収集し適切な対応を検討する。</li> </ul>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全運行のため、スクールバスの定期点検を行い、計画においてバスの更新も行う。</li> <li>・会計年度任用職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。</li> <li>・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。</li> <li>・小学校スクールバス運転手と業務を平準化し、緊急的な変更にも対応できるようにしていく。</li> <li>・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。</li> <li>・少子化・防犯上の問題など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区が拡大しているが、利用する児童生徒が安全に登下校できるよう運行方針及び利用基準を検討していく。</li> <li>・熱中症を予防するための行動を理解、実践することの周知をするとともに、熱中症対策のための体制を強化する。</li> <li>・山交バスの土曜日運休に伴い、確実な代行運転を実施する。</li> </ul>
--

# 事務事業点検・評価調書

13

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

## 3. 事業の実施状況

・工事関係	
西五百川小厨房天井改修工事	414,700 円
西五百川小支障木剪定工事	240,900 円
宮宿小敷地北側舗装工事	3,045,900 円
大谷小屋根修繕工事	880,000 円
大谷小軒天修繕工事	418,000 円
大谷小すくすく教室等エアコン修繕工事	275,000 円
・その他、各小学校へ小規模修繕の予算配当	

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	5,480,000	決算額	5,274,500	差引額	205,500
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。</p> <p>○特定建築物の定期報告をするにあたり、学校施設状態を把握することで今後の維持管理に活用することができた。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<p>・現在の小学校については安全を確保し、安心して快適な施設となるよう必要に応じ改修等の整備を行っていく。</p>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事関係           <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>教室改修工事</td> <td style="text-align: right;">4,840,000 円</td> </tr> <tr> <td>技術室等南側屋根修繕工事</td> <td style="text-align: right;">1,240,514 円</td> </tr> <tr> <td>給食センター回転釜設置工事</td> <td style="text-align: right;">572,000 円</td> </tr> <tr> <td>スクールバス車庫解体工事（大沼）</td> <td style="text-align: right;">286,000 円</td> </tr> <tr> <td>A L T トイレ便座改修工事</td> <td style="text-align: right;">117,700 円</td> </tr> </table> </li> <li>・備品関係           <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>可搬式冷房機器購入 3台</td> <td style="text-align: right;">2,533,190 円（県 1,000,000 円補助）</td> </tr> </table> </li> <li>・その他、中学校へ小規模修繕の予算配当</li> </ul> <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 工事費請負費の残</p>	教室改修工事	4,840,000 円	技術室等南側屋根修繕工事	1,240,514 円	給食センター回転釜設置工事	572,000 円	スクールバス車庫解体工事（大沼）	286,000 円	A L T トイレ便座改修工事	117,700 円	可搬式冷房機器購入 3台	2,533,190 円（県 1,000,000 円補助）
教室改修工事	4,840,000 円											
技術室等南側屋根修繕工事	1,240,514 円											
給食センター回転釜設置工事	572,000 円											
スクールバス車庫解体工事（大沼）	286,000 円											
A L T トイレ便座改修工事	117,700 円											
可搬式冷房機器購入 3台	2,533,190 円（県 1,000,000 円補助）											

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,760,000	決算額	9,589,404	差引額	1,170,596
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○大規模な工事のほかにも不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。</p> <p>○特定建築物の定期報告をするにあたり、学校施設状態を把握することで今後の維持管理に活用することができた。</p> <p>○タブレット使用で動作が遅いなど問題があったが、通信ネットワークアセスメントを実施し、対応の方向性を決めることができた。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全を確保し、安心して快適な施設となるよう必要に応じ改修等の整備を行っていく。</li> <li>・スムーズな通信環境を提供するため、改修工事を実施する。</li> </ul>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	02	教育振興費

## 2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい等により、支援を要する児童に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校3、児童数206人【19クラス（内特別支援5クラス）】</li> <li>・学力向上・特色ある学校づくり事業を各校の生徒に身につけたい力を事業内容とした実施に対し、各校 280,000円を上限に補助（西小276,059円、宮小279,641円、大谷小260,000円）</li> <li>・小体連陸上（5/17）</li> <li>・海の子山の子交流事業（7/15、10/14 宮城県七ヶ浜町汐見小、西五百川小）</li> <li>・芸術鑑賞事業補助428,690円</li> <li>・準要保護対象者12人、特別支援教育就学奨励該当者12人</li> <li>・学習生活指導員（西小3人・宮小4人・大谷小2人）、読書活動推進員（1人）</li> <li>・宗生文庫基金による図書購入468,432円、年度末基金残高12,598,586円</li> <li>・特別支援学級合同学習会の開催（6/7 東根市 児童生徒・保護者・教職員計41名参加）</li> <li>・ICT支援員の各小学校派遣（増額対応、タブレット授業や校務支援ソフトの運用支援等）学習支援ソフトの使用</li> <li>・備品等購入 西小：除草剤噴霧器等、宮小：プールコースロープ、ワイヤレスマイク等、大谷小：プールサイドマット、展示板等 計1,772,628円</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	28,095,000	決算額	26,786,473	差引額	1,308,527
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>○各校とも学力向上・特色ある学校づくり事業において工夫して実践を行った。総合的な学習において、「郷土学習カリキュラム」を活用した身近な素材について学び、朝日町のよさを発信する力が高まっている。</li> <li>○学習生活指導員の継続配置により、複式学級・特別支援学級も含めきめ細かな学習指導を行うことができ、また教職員の負担軽減にもつながっている。</li> <li>○読書活動推進員は各小学校を巡回しながら、図書室の環境整備や図書の紹介、図書を活用した授業への支援を行った。その結果、図書室の利用及び図書の貸し出しが増えるなど読書の推進が図られた。</li> <li>○電子黒板や大型モニターテレビ等の活用により、画像や動画等を提示しながらわかりやすい授業が行われた。</li> <li>○特別支援学級の合同学習会を開催し、他校児童生徒との交流や保護者や教職員の情報交換ができた。</li> <li>○不登校の児童に対し、家庭訪問や柔軟な登校時間の対応など丁寧な支援を行った。</li> <li>○こども議会で要望があった、児童生徒が主体的にまちづくり等の学習をする際の支援について検討する。</li> </ul>
--

## 6. 事業の方向性

- ・今後も学力向上と地域の方々との関わりを通して特色ある学校づくり事業を継続していく。
- ・少子化による複式学級の設置状況や教職員の負担軽減を踏まえ、引き続き学習生活指導員を配置し、教職員との打ち合わせを行いながらきめ細かな学習指導を進めていく。
- ・読書活動推進員を継続配置し、発達段階に応じた読書習慣を育成していく。
- ・特別な支援が必要な児童の保護者に対し、子どもの将来を見据えた指導等の方向性について、理解と協力を得るために努力していく。さらには保護者、学校、行政が連携を密にし、対応にずれが生じないよう配慮していく。
- ・ICT支援員等の配置や、校務支援ソフトの運用をすることにより、ICT学習の向上と教員の負担軽減を図っていく。また令和6年度教科書改訂に伴い、デジタル指導用教科書も効果的に活用し、学習理解の向上、教職員の授業準備の負担軽減を図る。
- ・ICT支援員の配置を増やし、授業支援や教員事務、学校からの情報発信、タブレットの適正管理などフォローアップを強化する。
- ・不登校の児童生徒が孤立せず、自分の特性を生かしながら社会とのつながりを感じることができるようにするために、居場所づくり及び教育相談員等のよりよい配置等について検討していく。
- ・国のGIGAスクール構想の動向と次回導入タブレット選定について関係機関と情報交換し検討する。
- ・教員業務支援員（県費）を配置し、更なる教員の負担軽減を目指す。
- ・児童の転出等により、予定より早く複式学級になる場合など、適切な授業環境を整えるよう学校等と連携を図り取り組んでいく。
- ・児童生徒が主体的にまちづくり等の学習をする際の支援として「児童・生徒活動サポート補助金」を新設し、活動を支援する。

# 事務事業点検・評価調書

16

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

## 2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、生徒の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい等により、支援を要する生徒に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日中学校 生徒数 123 人【7クラス(内特別支援3クラス)】</li> <li>・学力向上・特色ある学校づくり事業を生徒に身につけたい力を事業内容とした実施に対し、489,908 円を補助</li> <li>・教材備品及び一般備品の購入 ポスタープリンター、プロジェクター等 1,324,737 円</li> <li>・休日部活動地域移行に伴う準備 部活動外部指導員の雇用(2名)</li> <li>・県大会、東北大会、全国大会派遣 812,341 円</li> <li>・部活動補助 552,988 円</li> <li>・準要保護対象者 11 人</li> <li>・特別支援学級奨励対象者 4 人</li> <li>・学習生活指導員 4 人、読書活動推進員 1 人を配置</li> <li>・あさひ地域未来塾「夏の陣」「冬の陣」の開催</li> <li>・スクールカウンセラー2人配置</li> <li>・ICT 支援員の派遣(増額対応、タブレット授業や校務支援ソフトの運用支援等) 学習支援ソフトの使用</li> <li>・不登校児童生徒の居場所としての会場使用料支出(松本亭)</li> <li>・校務用パソコン(25台)の更新(5年リースの1年目)</li> </ul> <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 中学校消耗品費や修繕料の残</p>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	17,663,000	決算額	15,515,524	差引額	2,147,476
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

## 5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○学力向上・特色ある学校づくり事業において工夫して実践を行った。総合的な学習において、「郷土学習カリキュラム」を活用した身近な素材について学び、朝日町のよさを発信する力が高まっている。また、地域の産業や伝統文化を学ぶことにより、これからの自分の生き方を考えるキャリア教育の推進にもつながっている。</p> <p>○特別支援学級も含め学習生活指導員の継続配置により、きめ細かな学習指導を行うことができた。</p> <p>○読書活動推進員は、図書室の環境整備や図書の紹介、図書を活用した授業への支援を行った。その結果、図書室の利用及び図書の貸し出しが増えるなど読書の推進が図られた。</p> <p>○電子黒板や大型モニターテレビ等の活用により、画像や動画等を提示しながらわかりやすい授業が行われた。</p> <p>○校務用パソコンの更新したことにより、操作性の向上などから事務処理時間の短縮につながった。</p> <p>○不登校の生徒や保健室登校・別室登校の生徒が学級に戻れるように支援を行った。</p> <p>○こども議会で要望があった、児童生徒が主体的にまちづくり等の学習をする際の支援について検討した。</p>
---

## 6. 事業の方向性

- ・今後も学力向上と地域の方々との関わりを通して特色ある学校づくり事業を継続していく。
- ・学級編成に応じた学習生活指導員を適切に配置していく。
- ・読書活動推進員を継続配置し、発達段階に応じた読書習慣を育成していく。
- ・一人ひとりの状況に応じた学習指導が求められており、保護者の理解と協力を得ながら対応していく。
- ・ICT支援員等の配置や、校務支援ソフトの運用をすることにより、ICT学習の向上と教員の負担軽減を図っていく。また令和7年度教科書改訂に伴い、デジタル指導用教科書も効果的に活用し、学習理解の向上、教職員の授業準備の負担軽減を図る。
- ・ICT支援員の配置を増やし、授業支援や教員事務、学校からの情報発信、タブレットの適正管理などフォローアップを強化する。
- ・不登校の児童生徒に対して県のスクールカウンセラー事業を活用して支援し、スムーズな無理のない形での学校生活への復帰を促していく。
- ・不登校の児童生徒が孤立せず、自分のこれからの生き方を思い描き、社会とのつながりを感じることができるようになるために、居場所づくり及び教育相談員等のよりよい配置について検討していく。
- ・不登校の居場所づくり「まるっとOK」へ参加しやすいよう、デマンドタクシー回数券を用意し、保護者送迎の負担軽減を図る。
- ・国のGIGAスクール構想の動向と次回導入タブレット選定について関係機関と情報交換し検討する。
- ・教員業務支援員（県費）を配置し、更なる教員の負担軽減を目指す。
- ・児童生徒が主体的にまちづくり等の学習をする際の支援として「児童・生徒活動サポート補助金」を新設し、活動を支援する。

# 事務事業点検・評価調書

17

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	外国語活動推進事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

## 2. 事業の目的

事業の目的	小学校における国際理解と英語力の向上を図る。 中学校における英語教育（コミュニケーション能力）を充実する。
-------	--

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度から小学校学習指導要領の改訂により、小学校3・4年生で外国語活動、5・6年で外国語が必修となった。令和元年度から、町単独のALTにJET事業のALTを加え2人体制にした。 令和5年8月より新ALT着任 オリベンシア・ジュリー（アメリカ出身） 小中学校およびあさひ保育園で外国語指導を行っている。</li> <li>ALT1名は国際交流専門員（行政職員）として、アメリカの異文化体験活動を企画実施し、国際交流の進展にも寄与している。</li> </ul> <p><b>【実施事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流イベント 7/1（小学生14人参加）</li> <li>ハロウィン <b>【宮宿中央通り商店街豊玉姫まつりの開催がなかったためそれに伴い未実施】</b></li> <li>中学生海外派遣事業 8/11～8/14 朝日中3年生4人 代替 福島県ブリティッシュヒルズ <b>【コロナ禍のため米国への海外派遣は中止】</b> アイジー基金を活用した事業 事業費723,000円（11/7アイジー工業様へ事業報告） 令和6年度より海外派遣事業再開にむけての事前調査</li> <li>朝日町海外派遣事業発表会 11/3 朝日町芸術文化祭内で発表</li> <li>修学旅行における英語学習 小学校10/5～10/6 福島県ブリティッシュヒルズ 中学校5/19 東京都TOKYO GLOBAL GATEWAY</li> <li>モンゴルの生徒との交流事業 中学校6/5～6/7</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	5,768,000	決算額	5,738,661	差引額	29,339
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○ALT1名は国際交流専門員（行政職員）として来日以来20年間の実績を活用し、学校と連携しながら適切な指導ができています。JET派遣のALTと2人体制を取ることにより、学校での滞在時間が長く、英語を聞いたり話したりすることが日常化しています。</p> <p>○国際交流イベントは中学生の海外派遣生が中心となって計画・運営をし企画・調整力やコミュニケーション力等を育成することができました。</p> <p>○海外派遣事業後の発表会を町の芸術文化祭で実施することができ、多くの町民に聞いていただける機会となりました。</p> <p>○保小中連携一貫教育の推進として、令和元年度に作成した保小中12年間を見通した「英語活動CAN-DOリスト」を活用して英語教育の充実を図っている。あさひ保育園や小学校低学年での英語あそびにより、英語への抵抗感を緩和している。</p> <p>○中学生海外派遣事業は福島県ブリティッシュヒルズでの研修になったが、異文化理解と英語によるコミュニケーション能力の育成という目的を達成することができた。</p>
---

## 6. 事業の方向性

- 外国語教育における学習到達目標を示したCAN-DOリストを活用し、学習成果の検証を図りながら、保育園や小学校低学年から英語に慣れ親しみ、抵抗感なく外国語活動につながるよう指導を充実させていく。
- 国際交流事業を通して、小・中学生が外国への関心を高めており、今後とも国際交流事業を継続していく。
- 町の学校教育の魅力の一つとして、ALT2人体制を継続し、外国語活動や外国語授業の質を向上させていく。
- 異文化体験事業「ハロウィン」を再開するかまたは別イベントを実施するか等関係機関と情報共有して今後の実施について検討する。
- あさひ英語学習会の講師について、数学と同様に民間委託する。

# 事務事業点検・評価調書

18

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	03	学校給食費

## 2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食費の完全無償化を実施 1食 280円＋物価高騰分 47円 1食計 327円</li> <li>・特別支援学校児童生徒の学校給食費補助の実施</li> <li>・経費は、光熱水費、調理師代行、検査委託費、食材費の負担金等</li> <li>・自校炊飯を全校で実施 年間 180日～190日</li> <li>・週4回米飯、1回パンまたは麺類</li> <li>・献立作成会議を年10回開催</li> <li>・町独自の調理師資質向上研修会2回開催(調理師全員参加)</li> <li>・地産地消を目指し毎月19日をふるさと給食の日と定め地元の野菜や果物、農産加工品を提供</li> <li>・食物アレルギー対策として、個別に自校給食により対応した給食を提供(除去・代替えによる対応)</li> <li>・代行調理師の賃金アップ</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	23,230,000	決算額	22,345,050	差引額	884,950
-----	------------	-----	------------	-----	---------

## 5. 事業の評価(成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○給食費完全無償化を実施し、子育て世帯の負担軽減につながった。</li> <li>○バランスのとれた給食を提供することができた。</li> <li>○食物アレルギーの児童生徒にも対応した給食を提供している。</li> </ul>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の提供にあたり当面は自校炊飯(町直営)で行い、義務教育学校創設の検討項目としていく。</li> <li>・食物アレルギー対策として、これまでの就学時健診時におけるアンケート調査に加え、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、共通認識を持ち安全に提供するため給食に反映させる。</li> <li>・調理室の現状について確認していくことで、施設老朽化による不都合が生じないようにする。</li> <li>・食材等の物価高騰が続いているが、量・質を保ったおいしい給食を提供できるように関係機関と情報共有しながら対応に努めていく。</li> <li>・よりスムーズな献立作成ができるように給食献立作成ソフトを導入し、栄養教諭や調理師の負担軽減を図る。</li> <li>・食材費の予算項目先を変更し、予算管理等の事務軽減を図ることとする。</li> </ul>
--

# 事務事業点検・評価調書

19

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	03	学校給食費

## 2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・米飯を加え、学校給食費の完全費無償化を実施 1食 301円+物価高騰分47円 1食計348円</li> <li>・給食調理を委託 12,980,000円(有)地球耕望</li> <li>・食物アレルギー対策として除去による個別に対応した給食を提供</li> <li>・米飯開始に伴う消耗品、給食センターの備品整備(茶碗、ガス炊飯器、ライスタンク、台秤等)</li> <li>・給食センターのガス調理機器の点検実施</li> <li>・給食配達車の車検更新</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	21,970,000	決算額	21,739,637	差引額	230,363
-----	------------	-----	------------	-----	---------

## 5. 事業の評価(成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○給食費完全無償化を実施し、子育て世帯の負担軽減につながった。</li> <li>○米飯給食を開始し、バランスのとれた完全給食を提供することができた。</li> <li>○食物アレルギーの児童生徒にも対応した給食を提供している。</li> </ul>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の提供にあたり当面は業務委託を実施し、義務教育学校創設の検討項目としていく。</li> <li>・食物アレルギー対策として、事前に小学校からのデータを引き継ぐことを基本とし、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、共通認識を持ち安全に提供するための給食に反映させる。</li> <li>・調理室の現状について確認していくことで、施設老朽化による不都合が生じないようにする。</li> <li>・食材費の予算項目先を変更し、予算管理等の事務軽減を図ることとする。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	社会教育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

## 2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る。
-------	-------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員 7人 (男4人、女3人)</li> <li>・社会教育委員会の開催 (6/27、3/15)</li> <li>・社会教育委員会で協議した内容             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 朝日町社会教育の課題                 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 女性の社会参画、子ども・若者の地域活動参画の在り方</li> <li>② 社会教育関係団体の高齢化、担い手の偏り</li> <li>③ 文化財の保護と活用</li> <li>④ 社会教育、社会体育施設の老朽化</li> <li>⑤ 町民が主体となった学びの場の確保</li> </ul> </li> <li>(2) 課題に対応するための重点取り組み                 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 人材育成事業の推進</li> <li>② 地域社会による子育て、社会教育の推進</li> <li>③ 読書・芸術文化活動の推進</li> <li>④ 文化財保護・保存と活用</li> <li>⑤ スポーツを通じた地域づくり・健康づくり</li> <li>⑥ 町民主体による生涯学習イベントの実施</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・山形県社会教育研究大会 11/16 3人参加 (鶴岡市)</li> <li>・村山地区社会教育推進協議会研修会 9/27 2人参加</li> <li>・社会教育機関負担金 (県社教連、県社教大会、山響)</li> <li>・社会教育団体活動補助金(子ども会育成連絡協議会 199,000円)</li> <li>・会計年度任用職員賃金、共済費 (業務員、町史編さん及びホール担当、事務員)</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	8,780,000	決算額	8,379,313	差引額	400,687
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○社会教育委員会において、事業計画及び実施状況について適切な助言をいただいている。時代の変化に合わせて社会教育の課題も変化しており、対応が多様化する中、社会教育の役割や目的などテーマを決めて意見交換を行うことができた。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員は、教育委員会に対する助言、意見を述べるなどの職務のために、先進的、優良事例の調査研究等を行い、社会教育委員会活動の活発化を促し、当町の社会教育に反映させる。</li> <li>・県等が実施する研修会への参加やテーマを決めた意見交換を行い、社会教育委員としての資質の向上に努める。</li> <li>・義務教育学校の創設は、地域行事や自治公民館活動など地域に与える影響も大きくなることから、地域と学校との関わり方について改めて整理するとともに、町民等のニーズを踏まえた社会教育の振興に努めていく。</li> </ul>
---

# 事務事業点検・評価調書

21

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化財保護費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

## 2. 事業の目的

事業の目的	町の文化財を掘り起こし、地域の宝として、守り伝える態勢を整え活用を図る。
-------	--------------------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護委員 5人 (5人以内)</li> <li>・文化財保護委員会 (8/18、3/27)</li> <li>・文化財保護委員視察研修及び調査 (3/27) 農兵の甲冑 (新宿)、豊龍神社本殿等 (本町)、叩壺 (創遊館)、浮嶋稻荷神社本殿・拝殿 (大沼)</li> <li>・指定文化財保護事業費補助金 佐竹家住宅管理費補助 558,000円 (差し茅・屋根葺き替え・杉皮葺き屋根) 水口十一面観音堂管理費補助 46,000円 (雪害対策) 大沼の浮島整備補助【国庫補助】 1,764,000円 (引水工事第2期工事等)、782,020円 (R3豪雪災害分) 大沼の浮島整備補助【町単独補助】 327,063円 (枯損木伐採及び枯れ枝伐採・押し出し棒) 角田流獅子踊 (大谷・ハツ沼) 伝承補助 100,000円 浮嶋稻荷神社管理費補助 60,000円 (雪害対策)</li> <li>・旧三中分校施設管理委託 (ハツ沼区) 203,000円 (草刈・雪下ろし等)</li> <li>・文化財等保護調査 (ハッチョウトンボ) 3回 (6/28、7/11、8/1) ※5年ぶりに雌雄1匹ずつ個体生息を確認</li> <li>・埋蔵文化財調査 豊龍館跡発掘調査 (5/18～6/8) 建設水道課負担 (遺構等の発掘なし) 和合館跡試掘調査 (12/25) 33,000円 (遺構跡等の確認なし)</li> </ul> <p>【予算と決算の差引額が多い理由】 暖冬により積雪が少なかったことから、雪害対策 (雪下ろし) に要する経費が不要となったため</p>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	4,522,000	決算額	3,911,689	差引額	610,311
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○町指定文化財については、所有者等と協議しながら保存整備を行うことができた。</p> <p>○大沼の浮島については、令和4年度から着手している道円沢からの引水配管工事が順調に進行しており、令和5年度の工事についても予定どおり実施することができた。</p> <p>○地区が中心となり、「朝日町ふるさと文化財」に登録された地域の宝を守っていく活動について、保護等も含めて支援を行うことができた。</p> <p>△区や個人で所有している文化財 (特に建造物、個人所有) については、経済的にも高齢化による体力的にも大きな負担となってきており、将来的に維持・保存が難しくなることも想定される。また、世代交代等による所有者の適切な継承がなされず、文化財の保護にも影響がでてきている。</p>
---

## 6. 事業の方向性

- ・大沼の浮島保存整備委員会において、計画実施の経過観察及び評価を行い、適宜見直しながら保存・活用整備を適切に進めていく。
- ・令和7年度に名勝指定100周年を迎えるため、記念式典等について検討を進めていく。
- ・現物の保存が難しいものは、写真やデータなどで文化的価値の保存を図っていく。
- ・「朝日町ふるさと文化財制度」について、区長会や公民館連絡協議会、各学校等で周知を図り、地域住民らが協力して地域の宝を守り伝えることへの関心を高めていく。
- ・文化財が将来的にも良好な状態で引き継がれていくために、今後も所有者との維持管理に関する話し合いを重ねていく。さらに町の支援を再考するとともに、国、県に対して引き続き支援の拡充を求めていく。

# 事務事業点検・評価調書

22

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	町史編さん費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

## 2. 事業の目的

事業の目的	町の歴史を正しく理解し、後世に伝える。
-------	---------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町史編さん専門員2人を配置に加え、ホール業務との兼務で1人加配。</li> <li>・町史及び町史資料頒布（資料集第37集編集集中）</li> <li>・文化財保護、民具の利活用等 創遊館ギャラリーにて実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>①「町の生活日用民具展示」9/2～9/18</li> <li>②「冬の民具展示」3/16～3/31</li> </ul> </li> <li>・朝日町郷土史研究会             <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと歴史教室「私たちの町の歴史と文化」 11/9～1/25 計6回（受講者/延べ79人（うち中学生以下31人））</li> </ul> </li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	2,529,000	決算額	2,452,932	差引額	76,068
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○古文書、歴史資料をまとめた町史や町史編集資料の頒布やふるさと歴史教室の開催は、町の歴史や文化を広く町民に伝える機会につながっている。</p> <p>○深い専門性と幅広い知識等を継承するとともに、継続的な調査・研究等に取り組んでいくため、後継人材を採用することができた。</p> <p>○ふるさと歴史教室の内容が小学校の授業において活用したいとの要請を受け、宮宿小学校で出前授業を実施した。</p> <p>△町内の民俗文化財に対する調査が遅れており、伝承できる人や貴重な資料が減少する前に調査する必要がある。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して、古文書、歴史資料をまとめ町史編集資料の作成業務を行う。</li> <li>・ふるさと歴史教室は、町内の子どもたちがわかりやすい講座内容にしたり、参加しやすい時間帯等にしたりすることで、町の歴史や文化に対する興味・関心を高めていく。また、学校での出前授業等の取り組みを検討する。</li> <li>・エコミュージアム協会と連携し、民俗文化財の調査体制を整備する。</li> <li>・朝日町郷土史研究会や大学等と連携を図りつつ、町の歴史や文化等に興味、関心等を持つ人から関わってもらい、継承していく方法についても検討する。</li> </ul>
--

# 事務事業点検・評価調書

23

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	青少年健全育成推進事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

## 2. 事業の目的

事業の目的	家庭、学校、地域が一体となった町全体の共通目標を掲げ、町民全体による子育てを推進する。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成町民会議（委員 23 人） 総会 6/13 青少年育成町民大会（あさひ教育の日との連携事業）10/20（倉遊館） 講演会「親・子ども・地域をつなげるユーモア詩の世界～ユーモアが変える子育てと地域～」 講師 白梅学園大学教授 増田 修治 氏 街頭指導（8/31：風神祭、3/5～8：各小中学校前） 青少年育成推進員活動（委員 6 人） 会議（6/6）、青少年事業への活動補助 「わくわく体験事業」 長井市方面【三淵溪谷ボート探検】（7/29）申込者 8 名（小学 1～6 年生） 山形県青少年健全育成県民大会（新庄市）10/29 不参加 村山地区青少年育成連絡協議会推進部会研修会（河北町）9/24 1 名参加</li> <li>・あさひ教育の日推進 啓発活動（チラシ全戸配布、ステッカー配布） 【決算額が超過した理由】 あさひ教育の日用の啓発物品に要する費用が見込み額を上回ったため</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	637,000	決算額	637,847	差引額	-847
-----	---------	-----	---------	-----	------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○社会情勢の変化により、非行の減少や問題・課題内容の多様化を受け、関連団体における活動内容の整理、統合や連携強化を図るため、「青少年育成町民会議」に体制を集約し、一体的に推進することができた。</p> <p>△青少年の育成に関わる世代等に向けて実施した青少年育成町民大会では、昨年度からの継続的な内容としてつながるとともに、重複する内容も多々あったため、講師選定は、継続または単年の実施について再考する必要がある。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成を推進する機関が見守っていることの啓発活動として、登下校時の学校訪問等による街頭指導を継続して実施していくとともに、あさひ教育の日推進事業など学社連携により、町民一人ひとりが教育に対する関心と理解を深め、地域全体で子どもたちを見守る機運を高めていく。</li> <li>・青少年健全育成と「あさひ教育の日」の一体的な普及啓発に取り組み、子育て世代のニーズに応じた取り組みを推進していく。</li> </ul>
--

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	自治公民館整備事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る拠点施設である自治公民館の整備に助成する。
-------	---------------------------------

3. 事業の実施状況

・自治公民館整備事業費補助金 ① 舟渡公民館（屋根塗装） 341,000 円（補助率 50%） ② 太郎公民館（雨樋・屋根等改修）※雪害対応 175,000 円（補助率 40%） ③ 常盤公民館（天井雨漏り修繕） 101,000 円（補助率 30%） ④ 前田沢公民館（周囲柵修繕） 79,000 円（補助率 30%） ⑤ 白倉公民館（屋根塗装） 158,000 円（補助率 40%） ⑥ 栗木沢公民館（トイレ改修） 119,000 円（補助率 30%） ⑦ 雪谷公民館（水道修繕） 51,000 円（補助率 40%） ・事業規模及び交付対象、補助率の概要			
事業規模	交付対象	補助率	事前協議
A改修	3,200,000 円以上（耐震改修含む限定）	60%以内（40 戸未満は 70%）	着手する 3 年度前の 8 月 31 日
B改修	2,000,000 円以上	50%以内（40 戸未満は 60%）	着手する前年度前の 8 月 31 日
C改修	1,000,000 円以上	40%以内（40 戸未満は 50%）	
D改修	200,000 円以上	30%以内（40 戸未満は 40%）	着手する年度の 8 月 31 日
※交付対象についても 40 戸未満における特例あり			

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	1,024,000	決算額	1,024,000	差引額	0
-----	-----------	-----	-----------	-----	---

5. 事業の評価（成果と課題）

○自治公民館整備事業補助金交付規程の見直しを行い（令和 5 年 7 月 1 日改正）、各公民館の整備に関する相談に応じて支援することができた。 ○事業規模（交付対象金額）による事前協議の期限と補助率等の不具合について、事業規模の捉え方を整理することにより解消することができた。 ○自然災害等による想定外の改修・整備について協議していたため、緊急的な対応を適切に行うことができた。 ○申請書等の様式のデータ提供について、個別に対応することができた。
--

6. 事業の方向性

・各地区からの要望をできるだけ早い段階で把握し、支援漏れのないよう制度の周知徹底を図っていく。 ・各自治公民館の新築については、地区との協議のうえ、可能な範囲で同一年度に重複しない調整を検討する。 ・自治公民館建築事業補助金交付規程に基づき計画的な支援を行うため、より活用しやすく、地域の問題や課題を把握し、自然災害等の影響により緊急的に支援が必要になった場合なども含め、実情に合わせた運用ができるよう随時制度を見直すとともに、人口減少、少子高齢化、物価高騰等の社会情勢を踏まえて、事業規模や補助基準の見直し、協議申請期間の短縮などについても引き続き検討していく。
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

事務事業名	中央公民館事業費
-------	----------

所管課・係 教育文化課生涯学習係

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

- ・中央兼中部公民館運営審議会（7/3、3/21 書面決議）
- ・家庭教育
  - 中央公民館事業…やまがた子育て講座
    - 6/15 宮宿小19人：「1年生の自立を促す親の役割」 県家庭教育アドバイザー 笹原英子 氏
    - 7/20 朝日中175人：「増えるお金と減るお金～お金は一生のパートナー～」 マネジメントファクトリー 中村哲士 氏
    - 10/13 大谷小85人：「親子が笑顔になる魔法の言葉」 県家庭教育アドバイザー 菊地喜美子 氏
  - あさひ家庭教育学級（あさひ保育園3回）
    - 5/13「親子で篠笛コンサート」85人 講師：篠笛奏者 櫻井和敏 氏、前県家庭教育アドバイザー 金澤和子 氏
    - 8/5「マリンバとおはなしコンサート」82人 講師：マリンバピアチエーレ&おはなし会 ぶなの実
    - 2/3『『足形』にまつわるミニ講話&親子スポーツ教室』52人 講師：ミズノ株式会社
- ・青少年教育
  - 中央公民館事業…二十歳のつどい：4/29 参加者51人（対象66人）
    - ボランティア育成（中学生…きりり7人、高校生以上…JOKER1人：町内イベントへの協力等）
  - 中部公民館事業…子ども会育成事業（3/20 第31回綱引き大会：14チーム185人参加）
    - 中部キッズクラブ
      - （2/17 マーティ先生&ジュリー先生と「グラハムクラッカーハウスづくり」参加者10人）
- ・成人教育
  - 中央公民館事業…ふるさと歴史教室【再掲】11/9～1/25 計6回（受講者/延べ79人（うち中学生以下31人））
    - 文化教室 11 教室（実申込者数98人、延べ申込者数118人）
      - 代表者会2回（4/18、1/16）
      - 生涯学習推進大会：ステージ発表（着付・民謡歌謡）
        - 展示発表（華道・刺し子・書道・健康料理・クラフト）
    - ※R5より一部教室を除き、男性会員の募集を実施
    - 第36回生涯学習推進大会 2/25 参加者：約300人
      - ・町スポーツ協会、子ども文化活動表彰式
        - （町スポーツ協会：15個人・1団体、子ども文化活動：9個人）
      - ・学習活動事例発表：文化教室ステージ発表（着付・民謡歌謡）
        - 朝日ふれあいスポーツクラブステージ発表（キッズダンス教室）
      - ・記念トークショー：長野オリンピック スピードスケート競技 金メダリスト 清水宏保 氏
      - ・展示：小中学生絵画・書道、文化教室作品、自治公民館報、町立公民館活動の紹介
  - 自治公民館
    - 中央公民館事業…町自治公民館長・主事等先進地研修12/14（金山町） 参加者：19人
      - ・有屋地区公民館連絡協議会の取り組み、旧明安小学校利活用事例研修
    - 公民館報発行奨励金交付事業 17 館
    - 自治公民館研修会等共催支援事業2 館
  - 中部公民館事業…自治公民館長・主事等研修7/22（創遊館）参加者：25人
    - ・研修会「ニュースポーツ体験（モルック&ダーツ）」
- ・高齢者教育
  - 中央公民館事業…「基本を学ぼう！スマートフォン講座」8/30、10/2、11/8、12/18、1/29（創遊館）
    - 町民（主に65歳以上）のデジタルスキル向上につなげることを目的に実施。参加者延べ51人

中央公民館事業…2/29 高齢者大学代表者会議 ※5年ぶりに実施し、運営状況について情報交換

中部公民館事業…寿大学①6/30 (創遊館) 参加者 11人

・開校式及び講話

講話「未然に防ごう！消費者トラブル～自分の財産を守ろう～」

寿大学②7/21 (みんなの居場所 すぽっと) 参加者 17人

・視察「みんなの居場所『すぽっと』見学・活動体験会」

寿大学③9/20 (庄内・酒田方面) 参加者 19人

・「社会見学」

寿大学④2/9 (創遊館) 参加者 35人

・芸術鑑賞会 (コーラス・おどり)

#### 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,739,000	決算額	1,626,768	差引額	112,232
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

#### 5. 事業の評価 (成果と課題)

○新型コロナウイルス感染症の5類への移行を受け、実施方法等の工夫しつつ、以前のような賑わいのある活動を再開することができた。

○社会情勢の変化に応じて、性別等の制限をすることなく、参加対象等の見直しを図り事業を実施することができた。

○コロナ禍で急速に進んだデジタル化への対応に向けて、高齢者向けにスマートフォン講座を実施し、多くの方々から参加していただいた。

△事業等を再開したことに伴い、より多くの町民から参加してもらうため、周知や実施方法について見直す必要がある。

#### 6. 事業の方向性

・高齢者向けのスマートフォン講座について、行政の申請手続きや病院の予約受付など社会全体のデジタル化が進むことへの対応をサポートするため、継続的に取り組んでいく。

・義務教育学校の創設と並行し、参加者数が減少傾向にある公民館事業においても、中部・西部・北部地区の垣根を超え、特色ある事業を継続しつつ、一体的な事業展開へと転換していく。

・子どもから大人、高齢者までの参加対象の制限等を設定せず、一緒に活動する内容へと見直しを図り、参加者を確保するとともに、世代を超えた交流の活性化につなげていく。

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

- ・公民館運営審議会及び健康増進センター管理運営審議会 (6/28 書面開催、3/26 会議)
- ・青少年教育…いもがわ少年教室 2回 30人【7/30 箸とお椀づくり(流しそうめん):17人、9/24 釣り大会:池の水位が低下し危険なため中止、1/13 スキー教室:13人】
  - …子ども会育成協議会事業 2回 66人【9/9 第19回夏季大会(ウォークラリーと輪投げ):27人、3/20 第18回冬季大会(輪投げと長なわとび):39人】
- ・成人教育…楽笑楽生こうざ(味噌づくり講座) 2回 19人【1/21:9人、22:10人】
  - …陶芸教室 2回 16人【7/6:7人、9/7:9人】
  - …そば打ち講座 1回 5人【12/9】
  - …抹茶を楽しむ教室 1回 9人【12/10】
  - …筆ペンを使ったカレンダーづくり講座 1回 5人【12/28】
  - …熊ノ山チャリティークラウンド・ゴルフ大会 1回 53人【10/21】
- ・高齢者教育…高砂大学 2回 18人【9/20:9人、11/15:9人】
- ・自治公民館事業…西部地区自治公民館館長主事等研修会 24人【6/11】
  - …第30回西部地区スポーツフェスティバル→猛暑により中止 申込324人【8/27】  
(ソフトボール、グラウンド・ゴルフ、輪投げの3種目)
- ・第59回朝日町芸術文化祭展示発表会 11月3、4日【189人】
- ・「西部公民館だより」発行 4回(5/1、6/30、9/29、1/1)
- ・西部区長会や子ども会育成協議会など7団体の事務局担当  
※県道白滝宮宿線陸地内道路改良事業促進期成同盟会は令和6年2月3日をもって解散

## 4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	376,000	決算額	334,828	差引額	41,172
-----	---------	-----	---------	-----	--------

## 5. 事業の評価(成果と課題)

- 青年、女性、成人教育と分けていた事業を成人教育と総合的に事業を実施し、男女問わず小学生から高齢者まで幅広い世代を対象に事業を実施し、人生を豊かにするための学びの機会を提供できた。
- 西部地区スポーツフェスティバルは、西部地区自治公民館連絡協議会が主催し、各地区から大勢が参加する事業であり、スポーツとレクリエーションをとおして、地域の活性化と相互の親睦を深める機会となっており、令和5年度は4年ぶりに開催予定であったが、猛暑により参加者の健康を守るため大会の2日前に中止と判断し、結果4年連続で中止となった。
- △高齢者教育(高砂大学)は参加者が減少傾向にあるため、事業を継続していくためには参加者を増やしていく必要がある。

## 6. 事業の方向性

- ・町民ニーズの把握に努めつつ、地域の方々からも協力を得て、地域の特色(西部地区らしさ)がある事業を展開していく。
- ・事業の内容や周知方法等を見直し、新規参加者を増やす。
- ・西部地区スポーツフェスティバルは、西部地区最大のイベントであり、他の地区との交流を促進する大切な機会であるため、実施日の変更や熱中症対策等を講じ開催していく。
- ・コロナ禍において得た経験を生かし、今後の実施方法に取り入れながら効果的な事業の展開を図っていく。
- ・義務教育学校の創設と並行し、参加者数が減少傾向にある公民館事業においても、中部・西部・北部地区の垣根を超え、特色ある事業を継続しつつ、一体的な事業展開へと転換していく。

1. 事務事業名

事務事業名	北部公民館事業費
-------	----------

所管課・係 教育文化課北部公民館

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館運営審議会 (5/26、3/14 開催)</li> <li>・青少年教育…ドキドキ探検隊 隊員7人ほか大谷小以外の児童等 達人倶楽部13人 延べ隊員等児童42人(内大谷小学校以外16人)、延べ達人倶楽部35人参加 (流しそうめん、キャンプ、ハイキング、中華めん打ち等5回) …子ども会育成協議会事業7/9「交通安全教室」11/27「そば打ち教室」実施。</li> <li>・高齢者教育…睦大学 学生76人 延べ161人参加 (スポーツ交流、1日研修等4回)</li> <li>・成人教育 …自治公民館連絡協議会 館長主事等研修会 1回 28人 …第17回北部地区レクリエーション大会 9/10 (グラウンド・ゴルフ、輪投げ、モルック) 210人 …肩こり・腰痛改善体操 3回 11人 延べ31人 …クリスマスハーブリースをつくってみよう 1回 4人 …蜜ろうでハンドクリームをつくってみよう 1回 12人</li> <li>・第59回朝日町芸術文化祭 秋葉山交遊館展示発表 250人</li> <li>・秋葉山交遊館ロビー開放(冬季)…1/9～3/12の火曜日 計10日間 4人 (※常にロビーは開放しているが、この期間は暖房をつけて開放)</li> <li>・その他、共催事業等 …交遊たのしい子ども教室(生け花体験等)共催 …秋葉山さくら回廊等整備作業(6/11、7/2)、秋葉山整備活用計画の意見交換(10月北部地区区長会にて実施) (農林振興課にて、秋葉山の倒木処理、下刈りを実施)</li> <li>・「北部公民館だより」発行 4回(4/14、6/16、9/15、12/15)</li> <li>・北部地区区長会や子ども会育成協議会など5団体の関係団体事務局担当</li> </ul>
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	368,000	決算額	270,594	差引額	97,406
-----	---------	-----	---------	-----	--------

5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○青少年事業の「ドキドキ探検隊」は、野外活動を多く取り入れ、日頃できない体験が出来て参加者や保護者、大谷小学校より好評を得ている。また、地域の大人達が組織する「ドキドキ探検隊達人倶楽部」が企画、運営を担っており、世代間交流や地域の子どもの地域で育てる取組となっている。募集は大谷小のみ実施しているが、大谷小以外の児童の参加もあった。</p> <p>○高齢者の事業として、「睦大学」を行っており、向学心や探究心も衰えず、会員同士の交流にもつながっている。</p> <p>○北部地区レクリエーション大会は北部地区自治公民館連絡協議会が主催し、北部地区民が一堂に集い、レクリエーションを通じて健康な身体の維持促進を図り、笑顔が絶えない活力ある地域づくりを目指す機会となっている。今回はグラウンド・ゴルフ、輪投げ、モルックの3種目を開閉会式の簡素化等熱中症対策を講じながら実施した。 △性別を問わず幅広い年代から参加者が集まる事業の検討が課題である。</p> <p>○近年、夏季の気温が上昇している中、熱中症に注意を払い問題なく事業を実施することができた。</p>
---

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の内容を見直ししながら、さらに青年層及び世代間交流の事業を充実し、参加者数の増加と、各年代の学びの機会提供、地域の活性化につなげていく。</li> <li>・北部地区レクリエーション大会は、各自治公民館と他の地区との交流の場となっており、継続していく。</li> <li>・成年層の事業を各種行いながら、60代の学びと社会参加の場の確保にもつなげていく。</li> <li>・コロナ禍において得た経験を生かし、今後の実施方法に取り入れながら効果的な事業の展開を図っていく。</li> <li>・熱中症対策については、暑さ指数や熱中症特別警戒アラート等を参考に事業中止を含めた対応をしていく。</li> <li>・義務教育学校の創設と並行し、参加者数が減少傾向にある公民館事業においても、中部・西部・北部地区の垣根を超え、特色ある事業を継続しつつ、一体的な事業展開へと転換していく。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	創遊館管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	07	創遊館費

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日町エコミュージアムコアセンター創遊館（平成12年5月完成）※24年を経過</li> <li>・管理、各種設備、機器等の委託 夜間休日管理、清掃業務、エレベーター点検、空調設備、ピアノ保守管理、ホール管理、自動ドア、警備保障、舞台装置、特殊建築物定期報告、環境衛生・貯水槽清掃</li> <li>・修繕、工事 経常的な施設・設備・機械器具等の軽微な修繕 1,774,315円 舞台装置改修工事 18,500,000円（完成払）【R4～R5債務負担行為】 舞台装置改修工事監理業務 1,980,000円 合併浄化槽関連工事 1,794,540円 ホールイレスマイシステム改修工事 1,188,000円</li> <li>・芝生広場の芝刈りや除草等維持管理（随時）</li> <li>・創遊館の貸出 R5年度 利用件数2,301件 利用人数20,875人（町民1人当たりの利用回数3.52回）（5,928人） R4年度 利用件数2,192件 利用人数18,583人（町民1人当たりの利用回数3.02回）（6,154人） R3年度 利用件数1,777件 利用人数15,378人（町民1人当たりの利用回数2.44回）（6,296人） ※町民1人当たりの利用回数=利用人数/年度末日現在の人口（他も同様）</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	54,251,000	決算額	51,383,049	差引額	2,867,951
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○経年劣化により創遊館施設の各所に故障や傷みが出てきているため、特に著しい劣化が見られるものや緊急性の高いものから改修することができた。</p> <p>○中長期修繕計画に基づき、空調設備及び電気設備、建築改修など大規模修繕工事を終えることができた。</p> <p>△ホールの舞台照明や音響設備に係る更新・改修について、計画的な対応ができていない。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に劣化診断結果をもとに策定した中長期修繕計画に沿って、今後も計画的な施設修繕を行っていく。</li> <li>・中長期修繕計画は、社会情勢の変化に応じて、適切な見直しを図っていく必要がある。</li> <li>・舞台照明や音響設備についての更新・改修が進んでいないため、保守点検等を実施しながら、優先順位等を見定めつつ適切に改修を行っていく。</li> </ul>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・西部公民館（平成4年2月完成）、健康増進センター（昭和60年8月完成）、西部地区総合運動場（グラウンド：昭和62年3月完成）、熊ノ山農村公園（見晴らしの丘：平成15年3月完成）の4施設の管理</li> <li>・屋内施設：随時の清掃等の維持管理。</li> <li>・屋外施設：芝刈りや除草等の維持管理。人手が必要となる雪囲い作業等はシルバー人材センターに委託している。熊ノ山農村公園のグラウンド・ゴルフコースの春先のオープン作業や冬前のクローズ作業はグラウンド・ゴルフを楽しむ地元愛好会の皆さんからご協力いただいている。</li> <li>・年間利用者：R5年度 西部公民館 1,110人、健康増進センター 2,052人、西部地区総合運動場 507人、熊ノ山農村公園 3,752人、計 7,421人 (町民1人当たりの利用回数1.25回) (5,928人)</li> <li>R4年度 西部公民館 1,275人、健康増進センター 1,812人、西部地区総合運動場 610人、熊ノ山農村公園 4,303人、計 8,000人 (町民1人当たりの利用回数1.29回) (6,154人)</li> <li>R3年度 西部公民館 676人、健康増進センター 1,182人、西部地区総合運動場 448人、熊ノ山農村公園 3,438人、計 5,744人 (町民1人当たりの利用回数0.91回) (6,296人)</li> <li>・西部公民館2階会議室冷暖房エアコン改修工事 654,500円 冷暖房エアコンへの更新</li> <li>・西部公民館2階外壁等塗装工事 2,200,000円 西部公民館2階外壁や柱の塗装等</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,026,000	決算額	9,580,909	差引額	445,091
-----	------------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○各施設においては、地区民や関係団体の自発的な奉仕活動による維持管理の協力を頂きながら、適切な管理業務を行った。</p> <p>○健康増進センターにおいては主に卓球、熊ノ山農村公園は主にグラウンド・ゴルフと多くの方々に利用していただいている。</p> <p>△屋内施設（西部公民館、健康増進センター）は建設から30年以上経過しており、老朽化とともに、不具合が生じている。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・西部公民館と健康増進センターについては、令和3年3月に策定した公共施設個別施設計画に基づき、計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。その他の施設については、施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

事務事業名	北部公民館管理費
-------	----------

所管課・係 教育文化課北部公民館

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋葉山交遊館、芝生広場（平成7年7月完成）、北部体育館（昭和54年3月完成）、大谷地区運動広場（昭和62年完成）</li> <li>・屋内施設：随時の清掃、維持、夜間警備委託等（335,360円）</li> <li>・屋外施設：芝刈りや除草、樹木剪定、枝打等維持管理 一部、シルバー人材センター等に委託（383,288円）。</li> <li>・年間利用者：R5年度 秋葉山交遊館 4,205人、ときめき体験館 90人、多目的広場 1,527人、北部体育館 1,568人、秋葉山グラウンド 3,830人、計 11,220人（町民1人当たりの利用回数1.89回）（5,928人）</li> <li style="padding-left: 2em;">R4年度 秋葉山交遊館 3,192人、ときめき体験館 40人、多目的広場 1,609人、北部体育館 981人、秋葉山グラウンド 2,756人、計 8,578人（町民1人当たりの利用回数1.39回）（6,154人）</li> <li style="padding-left: 2em;">R3年度 秋葉山交遊館 2,722人、ときめき体験館 62人、多目的広場 1,338人、北部体育館 838人、秋葉山グラウンド 2,941人、計 7,901人（町民1人当たりの利用回数1.25回）（6,296人）</li> <li>・秋葉山交遊館非常放送設備更新工事 1,287,000円</li> <li>・北部体育館アリーナ照明器具更新工事 1,870,000円</li> <li>・秋葉山交遊館高圧受変電設備改修工事 令和6年度へ繰越</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	26,854,000	決算額	7,253,637	差引額	19,600,363 うち繰越額 19,250,000
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------------------------------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の維持管理の協力として、地区民から自発的に奉仕作業をいただいている。</li> <li>○遊具やテニスコート、屋外バスケットコートなど、幼児、子ども達が利用している。特に令和4年度に更新した遊具は、平日の夕方や土日に多くの子ども達や家族連れの方々に利用されている。</li> <li>○多目的広場では、地区民のグラウンド・ゴルフ利用が多く、各区大会や日常の練習等で利用されている。</li> <li>△秋葉山交遊館は施設完成から30年近くが過ぎ、老朽化が進んでおり、修繕の必要な箇所が増えてきている。</li> </ul>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部公民館、ときめき体験館、北部体育館については、令和3年3月に策定した公共施設個別施設計画に基づき、計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。その他の施設についても随時、施設点検を行うとともに、施設の老朽化や修繕必要箇所について、緊急性の高いものから計画的に修繕して、安全で安心して利用しやすい施設を維持していく。</li> </ul>
---

1. 事務事業名

事務事業名	放課後子どもプラン事業費
-------	--------------

所管課・係	教育文化課生涯学習係
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

・放課後子ども教室推進事業の実施  
コーディネーター1人配置

	サポーター数	開設数		延べ利用者数
		平日	土日	
きらきらスクール (宮小)	12人	90日	1日	1,550人
のびのびスクール (西小)	14人	120日	2日	4,590人
どきどきスクール (大谷小)	15人	140日	6日	820人

- ・きらきらスクール (宮小)  
※遊びを通じた基礎体力の向上を図るとともに、まとまりある下校集団を形成するために利用を推奨
- ・のびのびスクール (西小)  
※少子化・防犯上の観点から、一斉下校を実施しており、原則的に全児童が利用
- ・どきどきスクール (大谷小)  
※少子化・防犯上の観点から、徒歩通学距離が長く、少人数地区の低学年は、高学年とともに下校するため、高学年を待つ必要がある児童は原則的に利用

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,265,000	決算額	1,147,171	差引額	117,829
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

○町内各小学校及びサポーターとの関係を密にした連携を図りつつ、年間を通して開設することができており、子どもたちの放課後の居場所確保につながっている。  
○お知らせ板等を活用してサポーターの募集を行い、新規サポーターの確保につなげることができた。  
△協力していただけるサポーター数が減少し、一人当たりの負担が増えており、各小学校における開設の需要に対応できなくなっている。

6. 事業の方向性

- ・サポーターの確保に向けて、引き続き募集案内等を強化するとともに、サポーター同士のつながりを強化していく。また、地域学校協働本部の会議等においてもサポーター不足を発信し、協力をお願いしていく。
- ・各校へのコーディネーターの配置とサポーターの増員により、負担感が少ない運営体制を目指していく。
- ・義務教育学校創設に向けて、統合後の放課後子ども教室の在り方についても検討を進めていく。

1. 事務事業名

事務事業名	つながりで育てる人材育成事業
-------	----------------

所管課・係 教育文化課生涯学習係

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	自主的に活動する人材・団体を育成し、行政とともに地域づくり、まちづくりを推進し町民生活に寄与する。
-------	---

3. 事業の実施状況

<p>「Newアクション事業」の実施 応募団体3団体</p> <p>【チャレンジ創造資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>のぼり花火大会実行委員会 代表 登坂 尚高 氏 (13人) 3年度目 補助金 400,000円 花火大会を通して、地域貢献やまちづくりに積極的に関わろうとする人材の育成（花火大会【オンライン配信】）</li> <li>竜馬が学校にやってきました！実行委員会 代表 樋口 義一 氏 (11人) 2年度目 補助金 400,000円 プロの音楽家による生演奏や講演会を通して、子どもたちに将来の夢や未来の展望を考えるきっかけの提供</li> <li>YUKARI 代表 多田恵理子 氏 (8人) 初年度目 補助金 176,000円 子育て等をする現役世代の女性が自分らしく輝ける居場所づくり</li> </ul> <p>【アクション継続資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝日町若者有志団体 バッキラ 代表 鈴木 淳 氏 (18人) 初年度目（継続4年度目） 補助金 320,000円 子どもたちの遊び場づくりを通して、若者たちの交流の場を拡充する（外遊びイベント、拠点整備 など）</li> </ul> <p>「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」への募集及び派遣 7/26～8/8（14日間） 受講者なし</p>
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,410,000	決算額	1,296,000	差引額	114,000
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町や地域の活性化や課題を考え、様々な視点での活動を支援し、町づくりに寄与する事業となった。</p> <p>○3年目まで継続事業を支援するとともに、自立した活動へつなげられるように、条件を付加したうえで、さらに3年間の継続支援を行っている。</p> <p>○新規2件の相談をうけ、うち1件の団体設立と実際の活動につなげることができた。また、活動内容を紹介する動画を作成し、提供してもらい事業の周知とともに、新規団体の確保に向けたPRを行うことができた。</p>
---

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな活動にチャレンジしようとする町民への支援を拡充するとともに、支援団体のニーズ把握に努め、事業内容を検証し、利用者目線で再考していく。</li> <li>動画等を活用したPRを継続するなど、効果的な事業の周知ができるように工夫するとともに、活動の様子などを定期的に発信していく。</li> <li>若い世代の人材育成を図るため、「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」だけでなく、高校生等を対象とした事業に派遣するとともに、その活動報告を広く同世代に伝えられる機会をつくる。</li> </ul>
---

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	図書館費
-------	------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	05	図書館費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が学習や生活に役立つ情報や知識を得ることができ、楽しい生活の場とするため図書館運営を行なう。
-------	--

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立図書館管理運営 会計年度任用職員4人配置</li> <li>・利用登録者 4,684人、うち町外635人 (R4 登録者4,615人 うち町外611人)</li> <li>・1日平均貸出 約45冊 (R4 45冊)、1日平均利用者数 約14人 (R4 14人)</li> <li>・図書資料収集・蔵書数 45,740冊/R5末 (45,39冊/R4末)</li> <li>・蔵書点検 11/14～19</li> <li>・移動図書事業 5月～3月 (8月は除く) 大谷小 18回 (月2回)</li> <li>・団体貸出 3団体 りんごっこクラブ (年9回・508冊)、あさひ保育園 (年11回・360冊)、朝日中学校 (年11回・276冊) ※特別支援学級対応</li> <li>・ブックスタート事業 (年6回) 絵本のプレゼント、絵本の読み聞かせ</li> <li>・おはなし会事業 5月～3月 (毎月第2土曜、12月・1月除く) ※おはなし会「ぶなの実」と共催</li> <li>・図書館まつり 12/9 (土) クリスマス子どものつどい 参加者47名 (大人22名、子ども25名) 2/25 (日) 古本プレゼント プレゼント人数63名 (町内59名、町外4名) 冊数232冊 10/14 (土) 夜の図書館「あいたい」(計28名)</li> <li>・ブックテーマコーナー開設 (毎月) 月毎にテーマを設定し本の紹介</li> <li>・子育て支援コーナー設置 (図書冊数200冊、貸出冊数260冊)</li> </ul>
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	8,178,000	決算額	7,735,772	差引額	442,228
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○おはなし会や図書館まつりなどの行事を制限等なく開催し、多くの方に本に親しんでもらうことができた。</p> <p>○幼児期から本に親しんでもらうため、ブックスタートでの絵本贈呈等の活動を継続して実施することができた。</p> <p>○移動図書事業については、引き続き低学年と高学年に分けて実施したことで、より子どもたちの図書に親しむ機会の充実に寄与することができた。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立図書館等との連携を強化するとともに、各種研修会への参加による職員の資質向上を図り、多様化する町民ニーズへ対応していく。</li> <li>・読書活動推進員と情報交換を行うことにより、子どもたちの適齢期に応じたニーズを把握し、選本の参考にしたり、より本に親しめる場づくりについて工夫を凝らしたりすることで、図書館のさらなる利用促進につなげていく。</li> <li>・アンケートを実施し、選本や利用方法等に関する情報の収集を行い、利便性の向上につなげていく。</li> <li>・町立図書館ならではの特色として、町にゆかりのある作者等の著書の積極的な収集に努めていく。</li> <li>・近隣市町の図書館運営に係る体制について情報収集を行い、運営体制や雇用条件の見直しを図るとともに、計画的な図書司書等の人材の確保及び育成に努める。</li> <li>・図書館へ足を運んでもらうきっかけづくりとなる取り組みを拡充する。</li> </ul>
--

1. 事務事業名

事務事業名	文化振興費
-------	-------

所管課・係 教育文化課生涯学習係

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	06	文化振興費

2. 事業の目的

事業の目的	地域を活かした朝日町らしい芸術文化活動を高める。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化祭                     <ul style="list-style-type: none"> <li>町芸術文化協議会支援 (25 団体、1 個人)</li> <li>11/3～4 第 59 回芸術文化祭                             <ul style="list-style-type: none"> <li>各公民館での全館展示 (10 団体、各地区愛好会、保育園児、小・中学生の展示)</li> <li>ステージ発表：9 団体 (芸文協以外の団体：2 団体)</li> <li>移動発表会：11/3 秋葉山交遊館 ステージ発表 5 団体</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・美の探訪 11/21 天童織田藩と松尾芭蕉の足跡を辿る旅 (天童市) 参加者 15 名</li> <li>・芸文パーティ 11/28 いもがわ温泉 参加者 35 名 ※5 年ぶりに実施</li> <li>・文化活動等お試し体験会「あさひ学びタイト」 6/25 創遊館 【参加者：約 150 人】                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①文化体験ブース (9 ブース設置)</li> <li>②親子向け講座 「ダンス体験教室」講師 Fam Ties HAL 氏</li> </ul> </li> <li>・創遊館展示 (ギャラリー・フォーラム)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①夢の桜街道ギャラリー展 (4/26～5/5)、②R6 採択教科書展示 (5/22～6/14)、③消防防災フェスティバル展示 (8/6～8/18)、④朝日町の生活日用民具展示 (9/2～18)、⑤朝日町出土の遺跡展示 (9/27～10/22)、⑥第 59 回町芸術文化祭展示等 (11/2～12)、⑦県立楯岡特別支援学校作品展 (11/17～27)、⑧生涯学習推進大会展示 (2/24～3/3)</li> <li>⑨刺し子教室作品展 (3/4～10)、⑩冬の民具展 (3/16～31)</li> </ul> </li> <li>・ホール事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>演芸「笑って元気に！あさひお笑いライブ」来場者 350 人 (委託先：株式会社フェザンレーヴ)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>第 1 部「お笑いライブ (漫才やコントなどを披露)」</li> <li>第 2 部「お笑い芸人トークショー」</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・文化講座 11 講座 参加者 116 人 (7/23、8/20、9/7、11/25、12/7、12/8、12/9、12/10、1/18、1/21・22、1/27)</li> <li>・親子講座 1 講座 参加親子 12 人 (7/30)</li> </ul>
---

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,538,000	決算額	3,442,699	差引額	95,301
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○町民が学び合う場の確保・きっかけづくりを目的として、幅広い世代がにマルシェ形式でさまざまな文化活動を気軽に体験するイベントの開催を通して、参加者や会員同士の交流等を深めるとともに、ニーズに応じた活動につなげることができた。</p> <p>○連休と重なった芸文祭において、来場者増加に向けた取り組みとして、例年式典前に実施している展示のみの開催日を式典翌日の休日に実施し、より多くの方々に来場していただいた。</p> <p>○音楽鑑賞が中心となっていたホール事業を、「演芸」「演劇」「音楽」と3年サイクルの取り組みに変更して実施した結果、4年ぶりとなったものの、販売チケットが完売し、会場満員となる好評と得た事業となった。</p> <p>△年間を通じたギャラリーの活用は出来ていないが、少しずつ展示 (相談) 回数は増えてきている。</p> <p>△芸文祭では、児童・生徒らの参加にあわせて多くの来場があるため、他演目の観覧への誘導などを工夫が必要である。</p>
---

## 6. 事業の方向性

- 町民にとって魅力ある学びや体験する場となるよう、アンケート調査等によりニーズを把握し、幅広い世代が参加しやすい講座等を企画していく。また、講座内容を動画等でPRすることについて検討を進める。
- 会員の減少等が進む中で、芸術文化協議会の会員確保や新たな体制等の検討を進めるとともに、活動内容などに関する積極的な情報発信や会員になる前に体験する機会の創出を検討していく。
- ギャラリーの活用については、常時展示等を開催できるよう、引き続き情報収集を強化していく。
- 朝日中学校が各学年で単学級となることから、文化祭を芸文祭との合同開催できないかとの相談があったことを受け、開催方法等について協議を進めていく。

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	保健体育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民が生涯スポーツ活動に取り組める。
-------	--------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の設置（委員8人）</li> <li>・町スポーツ協会主催の各種大会への支援（9団体） （R5実施競技：剣道、柔道、卓球、野球、グラウンド・ゴルフ、ゴルフ、ソフトボール、バドミントン、バレーボール） （スポーツ協会加盟団体13団体、会員数465人）</li> <li>・第40回アップル町民駅伝競走大会（11区間25.0km→R5より6区間11.0km） 10/8開催14チーム参加（優勝：大谷風チーム） ※4/13実行委員会①を開催し、チーム編成やコース見直し等について了承→6/14寒河江警察署と見直しを協議し了承 →6/28各地区代表者と詳細について最終協議→7/28実行委員会②で開催了承</li> <li>・県縦断駅伝（4/27～29）、西村山地区駅伝（11/12）への支援</li> <li>・ミズノ連携事業 ジュニアマラソンクラブ及び町スポ少合同コンディショニング教室（8/26、3/2）220,000円 小学校走り方教室（4/24）、泳ぎ方教室（7/7）の開催385,000円</li> <li>・全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金の交付（個人6件、団体3件）195,000円</li> <li>・町スポーツ協会への運営支援（各種スポーツ大会支援分）補助金738,000円</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ運営支援（7教室58人、ジュニアマラソンクラブ14人、キッズダンス13人）補助金1,660,000円</li> <li>・スポーツ少年団の育成、支援（8団体 団員数111人）補助金300,000円</li> <li>・小学校スキー記録会（1/31） 参加者：町内小学校5・6年生74人</li> <li>・休日の中学校部活動改革 現状の把握に向けて「部活動指導員」を任用し、2つの部活動（剣道・柔道）で休日における部活動の課題に関する情報収集に努めた。 1市4町で部活動改革に関する定期的な意見交換会を実施し、連携した取り組み等を検討している。</li> <li>・健康スポーツマルシェ「みんなで遊びタイト」（健康まつり併催）10/20参加者約200名 【目的】気軽に身体を動かせるレクリエーションスポーツ体験の機会を提供し、遊びながら運動や健康づくりへの意識を高める 【内容】レクリエーションスポーツ体験：5ブース、ミズノ社との連携：2ブース、健康チェック：3ブース NEWアクション支援団体による子ども向けイベント ※運営には、中学生ボランティアサークル「きらり」や食生活改善推進員が協力。</li> <li>・レクリエーションスポーツ（モルック）の普及活動 気軽にできるレクリエーションスポーツについて、自治公民館連絡協議会等で周知した結果、各地区の要望を受けて、出前講座を実施。 （実施地区：北部地区、大谷第五、大暮山）</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	8,538,000	決算額	8,048,960	差引額	489,040
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

- スポーツ協会主催の各種大会、スポーツ少年団活動、総合型地域スポーツクラブなどの運営支援とともに、スポーツ活動に向けた支援を行い、スポーツに取り組める機会を提供することができた。
- 各種スポーツ団体や大会の運営、全国大会出場者に対する支援や、世界で活躍したアスリートと講演会等を通して、町民のスポーツ振興に努めることができた。
- アップル町民駅伝競走大会の今後について検討を行い、継続的に取り組みやすいように見直し図り、チーム数も増えた中で実施することができた。
- レクリエーションスポーツの出前講座を実施し、地区等において周知、普及を図ることができた。
- 中学校部活動の一部に部活動指導員を配置し、休日における部活動の現状について把握することができた。
- △町民の多様なニーズに対応したスポーツに触れられる機会や施設等の環境が整わない。
- △部活動改革について、近隣市町の取り組みを含めて多方面からの情報収集に努めていく。

## 6. 事業の方向性

- ・地域のスポーツ関連団体への支援と各種大会等の運営に対する支援、全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金等を継続していく。
- ・「ミズノとの連携事業」は町全体で推進しており、教育委員会においても、小中学校における実技教室の開催やジュニアマラソンクラブに対する講師派遣を継続するとともに、今後もニーズに応じた事業が展開できるよう連携を強化していく。
- ・当町に応じた部活動改革について、引き続き検討を進めるとともに、少子化等への対応や義務教育学校創設による部活動の在り方なども協議を進めていく。また、近隣市町等との連携を図り、広域的な取り組みとして検討を行い、子どもたちの選択肢を狭めることがないよう、多様な活動を選択できるような機会を提供していく。
- ・部活動改革を軸としながら、受け入れる地域のスポーツや芸術文化活動の環境等についても整備を進める必要がある。専門性が求められるとともに、幅広い業務であることから特化して取り組むことができる人材の確保に努めていく。
- ・レクリエーションスポーツの町民交流会などの開催について検討していく。

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	体育施設管理費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	02	体育施設費

2. 事業の目的

事業の目的	町民が利用しやすい施設運営をする。
-------	-------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民体育館の管理委託 2,396,820 円、清掃業務 56,580 円                  一般利用人数：R5 7,243 人（町民 1 人当たりの利用回数 1.22 回）団体及び一般利用の増加による                  R4 4,294 人（町民 1 人当たりの利用回数 0.66 回）団体利用等の減少による                  R3 4,778 人（町民 1 人当たりの利用回数 0.74 回）複数回・長期間の利用制限での使用なし</li> <li>・緑が丘公園町民プール【7/15～8/20（営業日数 33 日）※7/18～21 休止】                  管理監視業務 5,863,000 円、ろ過機保守点検 33,000 円                  利用数：1,081 人（中学生以下 689 人、高校生以上 392 人） ※R4：1,220 人                  （町民 1 人当たりの利用回数 R5：0.18 回、R4：0.19 回、R3：0.18 回、R2：0 回、R1：0.30 回）</li> <li>・夜間照明（管理業務委嘱）10,440 円                  中学校及び朝日町野球連盟、朝日野球スポーツ少年団、ジュニアマラソンクラブで使用</li> <li>・町民プール塗装防水修繕工事（オーバーフロー部）1,980,000 円</li> <li>・レクリエーションスポーツ用屋内マット購入 415,800 円                  人工芝マット 6 本</li> </ul>
--

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	16,261,000	決算額	14,807,903	差引額	1,453,097
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町民体育館の利用については、コロナ禍による制限等がなくなったことから、練習試合や強化練習会などによる団体利用が増加した。また、町外団体の利用にかかる問合せも増加傾向にある。</p> <p>○常に安全な施設管理を行うように努め、適宜修繕等を施しながら町民のスポーツ活動支援に寄与することができた。</p> <p>△町民プールについては、利用者数は概ね横ばいで推移しているものの、昨年度は猛暑の影響もあり、熱中症等が懸念されたことから利用者が減少している。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設及び備品の現状把握に努め、実施計画に基づき計画的に管理、整備、修繕をしていく。</li> <li>・予約利用の受付は、バスケットボールコート 2 面のうち、1 面分での貸し出しとしているが、利用者のニーズを収集し、貸出についての再考を進める。</li> <li>・町民体育館や町民プールなどの社会体育施設において、夏季の気温上昇により熱中症対策が必須となっていることから、熱中症指数等を踏まえた利用方法や制限による対応を行い、利用者の安全確保に努めていく。</li> </ul>
---

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課義務教育学校創設準備室

事務事業名	義務教育学校創設準備委員会事務局費
-------	-------------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	義務教育学校費
	目	01	義務教育学校創設費

2. 事業の目的

事業の目的	義務教育学校の創設に向けた円滑な事務局運営
-------	-----------------------

3. 事業の実施状況

<p>【推進体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専任指導主事、事務職員の配置、</li> <li>義務教育学校創設準備室の設置 (6/1)</li> <li>義務教育学校創設準備委員会の設置 (6/22)、委員数 18 人、会議開催回数 7 回</li> </ul> <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開校準備通信の発行(10 月、3 月)</li> <li>町ホームページ内専用コーナーの開設 (10 月)、Q&amp;Aの作成、HP掲載</li> <li>広報誌掲載 (10 月)</li> </ul> <p>【計画策定・視察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想・基本計画の策定</li> <li>視察研修 13 校(教委)を視察                  県内：新庄市立明倫学園、萩野学園、戸沢村立戸沢学園、山形市立南沼原小、西山形小山辺町立山辺中、旧作谷沢小中、飯豊町教委・飯豊第一小                  県外：北海道安平町立早来学園、福島県郡山市立西田学園、福島県大熊町立学び舎ゆめの森                  東京都江東区立有明西学園、江東区立第二大島中</li> </ul> <p>・【予算と決算の差引額が多い理由】                  旅費及び委員報償の執行残が多かったため。</p>
--

4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,249,000	決算額	1,685,858	差引額	563,142
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○専任指導主事、事務職員配置のもと、準備室及び準備委員会を年度早々に立ち上げることができた。                  △整備予定地について、当初は朝日中用地を想定していたが、測量調査等の結果整備困難となり、新たな候補地を選定することとなった。これにより、基本構想・基本計画の策定に遅れが生じた。</p> <p>○開校準備通信については、10月に第1号、3月に第2号を発行した。毎月のように準備委員会を開催してきたものの、対外的に公表できない内容も多く、2回の発行にとどまった。</p> <p>○ホームページについても9月に開設し、会議や視察、取り組み等の状況を随時更新している。発信できる内容は最大限発信に努めた。</p> <p>○視察については、昨年度は建物を中心に見てきた。今後めざす教育を実現するため、施設はどうあるべきか。そのヒントとなる事例を数多く見る事ができた。</p>
---

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>整備予定地が変更になり事業スケジュールに変更が生じたものの、令和10年4月の開校に向け準備を進めていく。</li> <li>令和6年度については、専門部会(5部会)を立ち上げ、詳細を検討する。</li> </ul>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課義務教育学校創設準備室

事務事業名	義務教育学校整備事業費
-------	-------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	義務教育学校費
	目	01	義務教育学校創設費

## 2. 事業の目的

事業の目的	義務教育学校の創設に向けた施設整備
-------	-------------------

## 3. 事業の実施状況

<p><b>【計画策定】</b></p> <p>・基本構想・基本計画の策定（測量および整備基本計画策定支援業務の発注）</p> <p>※測量および整備基本計画策定支援業務</p> <p><b>【当初発注内容】</b></p> <p>朝日中周辺の測量のほか、建物を整備する上での基本条件（地形、アクセス道路、必要面積等）や法規制を調査し、整備可能性の検証を行うもの。概算事業費や配置計画、整備スケジュールなどを整理し、整備基本計画をまとめることとした。</p> <p><b>【変更契約】</b></p> <p>朝日中用地への整備が困難になり、4候補地から次の整備予定地を選定することになったことを受け、4候補地について、概算事業費や配置計画、整備スケジュール等を整理し、比較検討可能な資料をまとめる業務を追加した。</p>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	24,000,000	決算額	5,700,000	差引額	18,300,000
					うち繰越額 18,260,000

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○整備予定地について当初は朝日中用地を想定していたが、調査の結果朝日中用地は東側斜面の近接に伴い、建築が制限されるほか、現校地へ建替える場合は補助金が少額となることが判明。朝日中用地への整備は困難と判断した。</p> <p>△現在、朝日中学校体育館が東側斜面に密接に建設されていることから、がけ地条例に抵触することは想定しておらず、建設当時からこれまでの間の条例改正により、新たに建設する場合は規制や建設場所が制限されることを事前に把握できなかった。</p> <p>○新たな候補地を選定することになったことを受け、基本構想・基本計画の策定に遅れが生じたものの、設計に入る前に概算事業費の的確な捕捉や用地変更の判断ができたことは前向きにとらえたい。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備予定地が変更になり事業スケジュールに変更が生じたものの、令和10年4月の開校に向け準備を進めていく。</li> <li>・整備予定地の選定については、子どもたちが安心・安全に過ごせる教育環境が確保できることやコミュニティ・スクールの推進するにアクセス等の利便性を考慮し選定を進める。</li> <li>・令和6年度については、測量、地質調査、用地の取得、用地および建物の基本設計・実施設計を進める。</li> </ul>
--

---

令和6年度 朝日町教育委員会「事務事業点検・評価報告書（令和5年度分）」

令和6年8月

〒990-1442

山形県西村山郡朝日町大字宮宿 2265 番地

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」内

朝日町教育委員会 教育文化課

電話 0237-67-2118 Fax 0237-67-3375

---